

保 育 学 科  
( 介 護 福 祉 専 攻 )

〈2019年度入学生〉

領 域	教 育 内 容	授 業 科 目	時 間 数	単 位 数	授 業 の 方 法	配 当 年 次				資 格 必 修 レクリエーション インストラクター	備 考
						1 年		2 年			
						前 期	後 期	前 期	後 期		
基 礎 教 育 科 目	必 修 科 目	社 会 人 基 礎 入 門 A ( 地 域 と 大 学 ・ ASP )	30	1	演 習	○					
		社 会 人 基 礎 入 門 B ( 茶 道 文 化 I )	30	1	演 習	○					
		茶 道 文 化 II	30	1	演 習		○				
		茶 道 文 化 III	30	1	演 習			○			
		茶 道 文 化 IV	30	1	演 習				○		
	選 択 科 目	女 性 学	30	2	講 義				○		
		英 語	30	2	講 義				○		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習	30	1	演 習			○			
		文 書 資 料 講 読	30	2	講 義		○				
		福 祉 文 化	30	1	演 習				○		
		ス ポ ー ツ 科 学	30	1	講 義				○	○	
		計		330	14						
専 門	人 間 と 社 会	人 間 の 尊 厳 と 自 立	30	2	講 義		○				
		人 間 関 係 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	30	2	講 義			○		○	
	社 会 の 理 解	社 会 の 理 解 I	16	1	講 義		○				
		社 会 の 理 解 II	30	2	講 義			○			
		社 会 の 理 解 III	16	1	講 義				○		
	計		122	8							
教 育 科 目	介 護 の 基 本	介 護 の 基 本 A	60	4	講 義	○	○				*
		介 護 の 基 本 B	60	4	講 義	○	○			○	*
		介 護 の 基 本 C	60	4	講 義			○	○		*
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 術	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン A	30	1	演 習	○				○	*
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン B	30	1	演 習		○			○	*
	生 活 支 援 術	生 活 支 援 技 術 A	120	4	演 習	○	○			○	*
		生 活 支 援 技 術 B	60	2	演 習	○					*
		生 活 支 援 技 術 C	60	2	演 習			○	○		*
生 活 支 援 技 術 D		60	2	演 習			○	○	○	*	

領域	教育内容	授業科目	時間数	単位数	授業の方法	配当年次				資格必修 リクレーション インストラクター	備考
						1年		2年			
						前期	後期	前期	後期		
専門	介護過程	介護過程Ⅰ	30	1	演習	○					*
		介護過程Ⅱ	30	1	演習		○				*
		介護過程Ⅲ	60	2	演習		○	○		○	*
		介護過程Ⅳ	30	1	演習			○	○		*
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	60	2	演習	○	○				*
		介護総合演習Ⅱ	60	2	演習			○	○		*
	介護実習	介護実習Ⅰ	232	5	実習	○	○				*
		介護実習Ⅱ	240	5	実習		○	○			*
	計			1282	43						
	教育科	発達と老化の理解	発達と老化の理解Ⅰ	30	2	講義	○				
発達と老化の理解Ⅱ			30	2	講義		○				*
認知症の理解		認知症の理解A	30	2	講義	○					*
		認知症の理解B	30	2	講義		○				*
障害の理解		障害の理解Ⅰ	30	2	講義	○					*
		障害の理解Ⅱ	30	2	講義		○				*
こころとからだのしくみ		こころとからだA	30	2	講義	○					*
		こころとからだB	30	2	講義	○					*
		こころとからだC	30	2	講義		○				*
		こころとからだD	30	2	講義			○			*
医療的ケア	医療的ケアA	36	2	講義			○			*	
	医療的ケアB	36	2	講義			○			*	
	医療的ケアC	60	2	実習				○		*	
計			432	26							
合計			2166	91							

\*：実務経験者が担当

### 卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については選択科目（3単位以上）を含めた8単位以上
- 二 専門教育科目については必修科目77単位以上
- 三 基礎教育科目8単位以上と専門教育科目76単位の合計85単位以上の修得を卒業の要件とする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①茶室は神聖な場所であることを理解する。茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。                  ②礼法（座礼、立礼）を覚える。和室での心得を学ぶ。（毎回反復練習をする。）                  ③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。                  ④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。                  ⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 日本<small>の</small>礼法 ・ 本学における茶道文化について、礼法について（お辞儀の仕方）                  【学習課題】 茶室「不文軒」に来る時は白ソックス、筆記用具を持って来て下さい。                  【禅語】 「和敬清寂」                  【ワンポイント】 教科書、学習帳、服紗ばさみ（名前を書く）                  ①服紗ばさみの中の説明を受ける（扇子、服紗、出し服紗、菓子切り、懐紙、服紗ばさみ）                  ・服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55）                  ②身だしなみ、玄関での心得について                  ③正しい靴の脱ぎ方                  ④和室で踏んではいけないもの                  ⑤茶室への出入りの仕方を学ぶ（席入り、床の拝見、退席）                  ⑥挨拶の仕方・礼法について【座礼（ざれい）・立礼（りつれい）】                  ⑦準備当番、茶室での約束事                  【授業内容】                  ①風炉薄茶点前（見本・説明）                  ②和・敬・清・寂について（教科書P2～P6）                  ③座礼（双手礼・爪甲礼）・立礼（会釈・敬礼・最敬礼）を学び体験する・席入り・退席の仕方                  【社会人基礎力】                  ①主体性（物事に進んで取り組む力）                  ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）                  ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）</p> <p>2 風炉薄茶点前①・道具の説明                  【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：四規・授業を受ける時の心構え                  【禅語】 「看脚下」                  【ワンポイント】                  ①上着の扱い方                  ②茶道具の説明（教科書P37～P50）                  ・服紗の畳み方、扱い方を体験する（教科書P53～P55）                  【授業内容】                  ①服紗の畳み方、扱い方を学ぶ（教科書P53～P55）                  ②班に分かれて体験する                  ③服紗の付け方（帯の替わりにベルト使用）・捌き方                  ④挨拶の仕方・礼法（座礼・立礼）・歩き方（半畳3歩）                  ⑤席入り・退席の仕方                  ⑥服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を体験する（教科書P56～P57）                  ⑦道具の片付け                  【社会人基礎力】                  ①主体性（物事に進んで取り組む力）                  : 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む                  ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）                  : 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する                  ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）                  : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>3 風炉薄茶点前②・茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗、道具の清め方を体験する                  【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：慣用句） 復習：礼法、正しい靴の脱ぎ方                  【禅語】 「洗心」                  【ワンポイント】                  ・雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方                  【授業内容】                  ①茶道具の準備と後片付けについて学ぶ                  ②仕込み茶碗の仕方を学び体験する（教科書P60～P61）                  ③服紗の扱い・棗の清め方・茶杓の清め方を復習する（教科書P53～P57）                  【社会人基礎力】                  ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）                  : 小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む                  ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）                  : 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する                  ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）                  : 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>4 風炉薄茶点前③・お菓子の取り方、食べ方を学び体験する</p>

	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：適切なことば1） 復習：茶道具と準備と片付けについて</p> <p>【禅語】「大道無門」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①箸の使い方について ②柄杓の持ち方、使い方を学ぶ</p> <p>【授業内容】</p> <p>①お菓子の取り方、食べ方を学び体験する。 ②柄杓の扱い方・茶道具の持ち方（水指・茶碗・棗・酒）を体験する。 ③服紗の付け方・さばき方の復習をする。（教科書P53～P55） ④茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の仕方を復習する。（教科書P59,60）</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>5 風炉薄茶点前④・茶筌通し、茶巾の扱い、茶碗の拭き方を体験する</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：適切なことば2） 復習：箸の使い方、茶道具の名前、席入りの仕方</p> <p>【禅語】「喫茶去」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①茶筌通し ②茶巾の扱い方、茶碗の拭き方（教科書P73～P74）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①道具の置き合わせを学び、体験する ②棗清め、茶杓清め、柄杓の扱い方の復習 ③菓子の取り方、食べ方の復習をする ④点て出しを体験する</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>6 風炉薄茶点前⑤・茶筌通し・茶碗の拭き方まで</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：四字熟語） 復習：茶道具について・片付け方</p> <p>【禅語】「清風匝地」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①訪問のマナー ②研究室への入り方を学び体験する ③敬語について（尊敬語、謙譲語、丁寧語）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①茶筌通し・茶巾の扱い方・茶碗の拭き方まで体験する ②道具の置き合わせから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭き、抹茶を入れ、お湯を入れて茶筌でお茶を点て、飲むまで体験する。（点て出しをする） ③道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>7 風炉薄茶点前⑥・茶筌通し・茶碗の拭き方までの復習</p>
	<p>【学習課題】 予習：ドリル（一般常識：対義語1） 復習：敬語について、片付け方</p> <p>【禅語】「歩々是道場」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>・衣替えについて</p> <p>【授業内容】</p> <p>①初めから茶筌通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭くまでを復習する。 ②道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>

8	<p>風炉薄茶点前⑦・抹茶の入れ方・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方・茶の点て方</p> <p>【学習課題】予習：ドリル（一般常識：対義語2） 復習：茶道具について</p> <p>【禅語】「日々是好日」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）（教科書P15-P17）</p> <p>②抹茶の入れ方・水指の蓋の扱い方・湯の入れ方・茶の点て方（P74-P75）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①お茶を点てるまでを復習する</p> <p>②道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>風炉薄茶点前⑧・客点前・茶碗の取り込み方</p> <p>【学習課題】予習：ドリル（一般常識：誤字訂正） 復習：「茶の種類」（緑茶・ウーロン茶・紅茶）、禅語</p> <p>【禅語】「且坐喫茶」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）（教科書P20-P21）</p> <p>②客点前・茶碗の取り込み方（P76）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半前復習</p> <p>②客点前を体験する</p> <p>②道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容等）を伝える</p> <p>③実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>風炉薄茶点前⑨・薄茶点前前半前復習</p> <p>【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方） 復習：「茶の飲み方」（団茶法・抹茶法・煎茶法）、準備・片付け時の注意事項、茶花</p> <p>【禅語】「思無邪」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「侘び茶」（村田珠光・武野紹？・千利休）教科書P23-P25）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半前復習</p> <p>②道具の片付け</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>風炉薄茶点前⑩・薄茶点前前半前（内検）</p> <p>【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方2） 復習：侘び茶、禁花</p> <p>【禅語】「明珠在掌」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き）</p> <p>②服装・身だしなみチェックシート記入</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半前（内検）</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>風炉薄茶点前⑪・薄茶点前後半の見本・説明</p> <p>【学習課題】予習：ドリル（一般常識：特別な読み方3） 復習：点前の三要素、試験時に気を付ける点</p> <p>【禅語】「処々全真」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）</p> <p>【授業内容】</p>

	<p>①風炉薄茶点前後半の見本・説明  ②風炉薄茶後半点前練習  ③道具の片付け  <b>【社会人基礎力】</b>  ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）  ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる  ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力）  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>13 風炉薄茶点前⑫・薄茶点前練習  <b>【学習課題】</b> 予習：点前の自主練習 復習：「武家茶」（古田織部・小堀遠州・片桐石州）、禅語  <b>【禅語】</b> 「？啄同時」  <b>【ワンポイント】</b>  ①実技試験のチェックポイント  <b>【授業内容】</b>  ①薄茶点前練習  ②道具の片付け  <b>【社会人基礎力】</b>  ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>14 風炉薄茶点前確認（実技試験）  <b>【学習課題】</b> 予習：点前の自主練習 復習：今までの復習  <b>【禅語】</b> 「在眼前」  <b>【ワンポイント】</b>  ①実技試験について全体説明  <b>【授業内容】</b>  ①薄茶点前前半確認（実技試験）  実技試験を受けたら、客点前をする。 終わった順に速やかに退席する。  <b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>15 点前確認の成績発表・利休七則・茶道大会について  <b>【学習課題】</b> 予習：薄茶点前の復習 復習：学習帳のまとめ  <b>【禅語】</b> 「一期一会」  <b>【ワンポイント】</b>  ①着物の種類  ②利休七則について（教科書 P24～P25）  ③茶道大会の流れの映像を見る。（DVD）  ④各班で成績発表・自己評価・アンケート記入・学習帳回収  <b>【授業内容】</b>  ①自己評価  ②アンケート記入  ③学習帳回収  <b>【社会人基礎力】</b>  ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ②課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）  ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる  ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）  ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える  ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）  ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く</p>
授業形態	講義と演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①茶道文化で身に付けたマナーや礼法を、茶室以外の生活の中でも実践できるようになる。（アクション）：働きかけ力  ②日本の礼儀作法を学び相手を思いやる行動ができるようになる。（チームワーク）：規律性  ③日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持つようになる。（シンキング）：課題発見力  ④箸の使い方や掃除の仕方を知り、実践できるようになる。（アクション）：主体性  ⑤茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できるようになる。（チームワーク）：状況把握力</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか 15%  授業ごとの理解度を学習帳で確認する：教科書や学習帳で予習・復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているか 10%  毎回のドリルや最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか、日常生活に役立っているか 15%  薄茶点前の実技の評価の観点は、正確な薄茶点前が出来るか：薄茶点前を正確にできるようになったか 60%</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）： 課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見力 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 恵美子			

講義概要	講義や講話および地域の方々や仲間との交流等を通じて、長崎短期大学生及び地域の一員としての自覚を深め、社会人としての基本的な教養を培っていく。		
授業計画	1	長崎短期大学での学び1（4月11日）（教務委員担当者） ・オリエンテーション ・自分の主張をきちんと文章で表現する（作文テスト）  学習課題 復習：シラバスを確認し、本授業の意義について理解すること。 予習：学生便覧の教育課程を読んでおくこと	
	2	長崎短期大学での学び2（4月18日）（教務委員長・保健室 養護教諭 木寺先生） 「短大での学びかた」について理解する。 心の健康状態について理解する。UPI検査の実施  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：学生便覧の長崎短期大学の全学3ポリシーを読んでおくこと。	
	3	長崎短期大学での学び3（4月25日）（安部恵美子学長） 建学の精神について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：学生便覧の学生生活要綱を読んでおくこと。	
	4	長崎短期大学での学び4（4月27日）（学生委員会・学友会） 新入生歓迎イベントを通じて短大で学ぶ仲間と交流する。  学習課題 復習：活動内容を振り返りこれからの交流に活かすこと。 予習：学生便覧の学生生活要綱・図書館利用規定を読んでおくこと。	
	5	長崎短期大学での学び5（5月9日）（学生委員長・図書館司書 岩崎先生） 「短大での決まりや社会人としての基本的な生活習慣」について理解する。 図書館・インターネットによる情報収集の方法を理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：短大HPにあるAwesome Sasebo Project(ASP) 活動について読んでおくこと。	
	6	Awesome Sasebo 1（5月16日）（国コミ・食物科、保育学科教員） 各学科で行っている Awesome Sasebo Project(ASP) の活動内容を聞き、その意義について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：佐世保市の観光資源などを探し、疑問点を整理しておくこと。	
	7	Awesome Sasebo 2（5月23日）（佐世保市観光商工部観光課） 佐世保市の概要及び観光事業について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：メディア・リテラシーについて調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	8	大人になるために1（5月30日）（小浦先生） 情報社会において留意すべきこと及びインターネット・トラブルなどの対応について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：金融について調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	9	大人になるために2（6月6日）（親和銀行コーポレートカルチャー室） 現代社会における金融の基本的な知識について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：選挙について調べ、疑問点を整理しておくこと。	
	10	大人になるために3（6月13日）（佐世保市選挙管理委員会） 明るい選挙の推進のために「選挙の基礎知識について」理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：公益財団法人メイク・ア・ウィッシュオブジャパンの活動について調べておくこと。	
	11	大人になるために4（6月20日）（メイク・ア・ウィッシュオブジャパン理事 大野寿子氏） 「難病の子どもをかなえるお手伝い」について理解する。  学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：初回の授業で書いた作文について振り返っておくこと	
	12	長崎短期大学での学び6（6月27日） 小論文の書き方について理解する。	



	<p>学習課題 復習：添削された小論文を再度読み直すこと。 予習：認知症について調べておくこと。</p> <p>1 3 大人になるために5（7月4日）（認知症サポーター養成講座／佐世保市役所） 認知症に関する基礎的な知識を理解する。（厚労省認知症対策の国家戦略『新オレンジプラン』の施策の一つ）</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：依存症について調べておくこと。</p> <p>1 4 大人になるために6（7月11日）（保健講話／佐世保市保健師、長崎県障害福祉課） 生涯にわたる自分の身体の管理及びさまざまな依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル）について理解する。</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと。 予習：地域の防犯活動について調べておくこと。</p> <p>1 5 大人になるために7（7月18日）（防犯講話／相浦警察署生活安全課・交通課） 自分たちの生活および地域の防犯、交通安全について理解する。</p> <p>学習課題 復習：配布プリント等を再度読み直すこと 予習：</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>到達目標</p> <p>①長崎短期大学の建学の精神が理解できる。 ②長崎短期大学での学びについて理解し、2年間の学習及び生活の計画を立てることができる。 ③さまざまな分野の仲間と交流し、協調性、コミュニケーション能力、課題解決力を身につけることができる。 ④長崎県及び佐世保市のことを学び、地域の一員としての自覚を深めることができる。 ⑤社会人への準備段階としての知識を学び、大人になるための自覚を深めることができる。</p> <p>評価の観点、手段、方法、評価比率 授業態度及び授業への意欲（40%）、課されたレポート（60%）で総合的に評価する。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：学生便覧及び配付資料
履修条件	
履修上の注意	講義日程は担当者の都合によって入れ替わることがある。 座席は指定された場所に着席すること。
オフィスアワー	各授業担当者の講義終了後
備考・メッセージ	毎回の資料はファイルに綴じ込み、適宜復習すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉薄茶点前を一人で出来る。</p> <p>②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。</p> <p>③大寄せの茶会の心得を学ぶことができる。茶会の客の作法を学ぶことができる。季節と客組みを学ぶことができる。</p> <p>④上座、下座を学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。和室での立ち居振る舞いを身に付けることができる。</p> <p>⑤前年の茶道大会の映像を見て学ぶ。色々な役割を知ることができる。自分の役割の練習を行い茶道大会に参加する。</p>
授業計画	<p>1 風炉薄茶点前</p> <p>【禅語】「清風万里秋」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①「煎茶の入れ方」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①本学における茶道の考え方</p> <p>②茶道文化の意義</p> <p>③準備当番、茶室での約束事</p> <p>④玄関での心得について</p> <p>⑤煎茶の入れ方を学び体験する</p> <p>⑥礼法・服紗捌き・道具の清め方・仕込み茶碗など復習する</p> <p>⑦道具の片付け</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>2</p> <p>【禅語】「平常心是道」</p> <p>【ワンポイント】</p> <p>①平戸について学ぶ（DVD平戸の映像）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①鎮信流についてまとめる</p> <p>④風炉薄茶点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>3 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <p>【禅語】「桂花露香」</p> <p>【ワンポイント】「薄茶点前のポイント確認」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る②</p> <p>②着物での立ち居振る舞いを体験する</p> <p>③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ</p> <p>④風炉薄茶点前練習</p> <p>【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>4 着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <p>【禅語】「行雲流水」</p> <p>【ワンポイント】「上座と下座」①</p>

	<p><b>【授業内容】</b>  ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る②  ②着物での立ち居振る舞いを体験する  ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ  ④風炉薄茶点前練習</p> <p><b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
5	<p>着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る</p> <p><b>【禅語】</b>「別無工夫」  <b>【ワンポイント】</b>「上座と下座」②</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①着物の名称を知る・着付けを学ぶ・着物の畳み方を知る③  ②着物での立ち居振る舞いを体験する  ③懐紙、服紗、扇子の付け方を学ぶ  ④風炉薄茶点前練習</p> <p><b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
6	<p>風炉薄茶点前</p> <p><b>【禅語】</b>「耕不尽」  <b>【ワンポイント】</b>①「旧暦について学ぶ」（1月～12月）</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①立礼見本点前  ②立礼点前練習</p> <p><b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前の自主練習を行う</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
7	<p>風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <p><b>【禅語】</b>「放下着」  <b>【ワンポイント】</b>①「二十四節気と五節句」</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①風炉薄茶点前  ②立礼点前練習</p> <p><b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）  ：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる</p>
8	<p>茶道大会パート別練習</p> <p><b>【禅語】</b>「泥多仏大」  <b>【ワンポイント】</b>「出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方」</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①茶道大会の濃茶水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ  （3パートを20分ずつローテーション）  ②客点前：出し服紗の使い方・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方  ③水屋：濃茶を練る  ④接待：縁高や濃茶を客へ出す</p> <p><b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）  ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる  ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）  ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p>

9	<p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>茶道大会パート別練習</p> <p>【禅語】「無功德」 【ワンポイント】「和食の基本」 【授業内容】 ①茶道大会の立礼水屋、接待、客点前などパート別の仕事内容を学ぶ （3パートを20分ずつローテーション） ②客点前：薄茶の飲み方・干菓子の頂き方 ③水屋：薄茶を点てる ④接待：懐紙にお菓子と薄茶を客へ出す 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>茶道大会で使用する道具について学ぶ</p> <p>【禅語】「徳不孤」 【ワンポイント】「会記について」 【授業内容】 ①茶道大会の会場確認 ②茶道大会で使用する道具について学ぶ 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>茶道の歴史について合同講義</p> <p>【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第3章 茶の湯に関わった人々（教科書P23～P28） 第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33） 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>風炉薄茶点前・立礼点前練習</p> <p>【禅語】「知足」 【ワンポイント】「縁起物について」 【授業内容】 ①風炉薄茶点前②立礼点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
13	<p>初釜</p> <p>【授業内容】初釜（点前拝見・濃茶飲み方、主菓子取り方、食べ方、裏から点て出し） ①初釜の道具組について説明を聞く ②各班に分かれて新年の抱負を述べ、学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】 ①発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータなどを用いて、具体的にわかりやすく伝える ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>

	<p>理解する</p> <p>14 松芳忌  <b>【授業内容】</b> 松芳忌、礼拝練習  ①経歴紹介（映像にて）  ②献茶  ③教職員・学生礼拝  ④講話  ⑤松芳忌・アンケート・自己評価  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>  ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）  ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する  ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）  ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>15 薄茶点前練習・学習のまとめ  <b>【禅語】</b>「一以貫之」  <b>【ワンポイント】</b>「正月飾りについて」  <b>【授業内容】</b>  ①薄茶点前練習  ②学習帳まとめ  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉薄茶点前・立礼点前練習の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性（物事に進んで取り組む力）  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力（目的を設定し確実に行動する力）  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①薄茶点前の割り稽古により、一人で薄茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ②季節の移ろいを感じるようになる。禅語の意味を理解するようになる。（シンキング）：創造力 ③茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができるようになる。（チームワーク）：規律性 ④茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を、学校や生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：発信力 ⑤茶道大会に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：状況把握  授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。 15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。 10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常生活に役立っているか。筆記試験 60% 薄茶点前：薄茶点前を正確にできるようになったか。茶道大会への参加状況といった行動や感想 15%
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著『茶道文化基礎編』 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化 I を履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。（アクション）：主体性 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。（アクション）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい（シンキング）：課題発見力 授業開始 5 分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。（アクション）：実行力
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。濃茶点前の道具の使用方法を知る。</p> <p>②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。</p> <p>③亭主と客の動きを学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深めることができる。</p> <p>④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。</p> <p>⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。言葉遣いに気を付けるようになる。</p>
授業計画	<p>1 風炉濃茶点前  <b>【禅語】</b>「和敬清寂」  <b>【ワンポイント】</b>「礼儀作法・伝えたいTPO」  <b>【授業内容】</b>          ①濃茶見本点前          ②茶道文化の意義（教科書P7～P12）再確認          ③出し服紗の畳み方確認          ④茶入の扱い方、紐の結び方          ⑤席入り、退席、礼法復習          ⑥茶入の紐結び  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>          ①主体性（物事に進んで取り組む力）          ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む          ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）          ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する          ③実行力（目的を設定し確実に行動する力）          ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>2 風炉濃茶点前  <b>【禅語】</b>「梨花一枝春」  <b>【ワンポイント】</b>「冠婚葬祭」  <b>【授業内容】</b>          ①風炉濃茶点前前半①  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>          ①主体性（物事に進んで取り組む力）          ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む          ②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）          ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する          ③規律性（社会のルールや人との約束を守る力）          ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>3 風炉濃茶点前  <b>【禅語】</b>「花看半開」  <b>【ワンポイント】</b>「熨斗の知識」  <b>【授業内容】</b>          ①3種類の柄杓の扱い方（切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓）          ②風炉濃茶点前前半②  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>          ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）          ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む          ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）          ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する          ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）          ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる          ④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力）          ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する          ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力）          ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>4 風炉濃茶点前  <b>【禅語】</b>「薰風自南来」  <b>【ワンポイント】</b>「袱紗について」  <b>【授業内容】</b>          ①風炉濃茶点前前半③  <b>【学習課題】</b>（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う  <b>【社会人基礎力】</b>          ①実行力（目的を設定し確実に行動する力）          ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p>

	<p>②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる</p> <p>④傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
5	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「悟無好悪」 【ワンポイント】「食事前に心がけること」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前後半① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
6	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「千里同風」 【ワンポイント】「器の扱い方」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前後半② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
7	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「本来無一物」 【ワンポイント】「衣替えについて・嫌い箸について」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前総復習① 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
8	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「無事」 【ワンポイント】「雑節について」 【授業内容】風炉濃茶点前総復習② 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「無心」 【ワンポイント】「身だしなみチェックシート」 【授業内容】風炉濃茶点前総復習③ 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p>

	<p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>風炉濃茶点前（内検）</p> <p>【禅語】「白珪尚可磨」 【ワンポイント】「試験を受ける心構え」（姿勢・位置・落ち着き） 【授業内容】風炉濃茶点前（内検） 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「萬法一如」 【ワンポイント】実技試験のチェックポイント 【授業内容】風炉濃茶点前練習 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>実技試験</p> <p>【禅語】「平常心是道」 【授業内容】 ①濃茶点前確認（実技試験） 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
13	<p>茶会の流れと花寄せ</p> <p>【禅語】「王三昧」 【ワンポイント】「禁花について」 【授業内容】 ①花寄せ ②ミニ茶会計画・練習 ③学習帳 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】</p> <p>①働きかけ方（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
14	<p>合同講義</p> <p>【授業内容】茶道の歴史について合同講義 第4章 鎮信流の茶（教科書P29～P33） 第5章 茶道における諸機能と茶道具について 【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を丁寧に理解する</p>



	<p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>15 班別ミニ茶会 【禅語】「一期一会」 【ワンポイント】「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具の片付け・アンケート ③学習帳回収 【学習課題】（予習・復習）：風炉濃茶点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ②課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ③計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ④発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力） ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①濃茶席で使用する茶道具の名称や使用方法を学び、正しく使用できるようになる。（アクション）：発信力 ②地域の伝統文化である鎮信流の濃茶点前ができるようになる。（シンキング）：計画力 ③亭主と客の心得などを習得し、心遣いを生活の中で役立てることができるようになる。（チームワーク）：働きかけ力 ④茶道の歴史を学び、鎮信流について説明することができるようになる。（アクション）：実行力 ⑤茶点前を通して、家庭や社会生活で役立つマナーを身に付けることを目標とする。（チームワーク）：規律性</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、講義は真面目に受けているか。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。日常生活に役立てているか。15% 濃茶点前の実技の評価の観点は、正確な濃茶点前が出来るか、道具を大切に丁寧に扱うことが出来るか、客点前はできているか、など総合的に評価する。実技試験 60%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学习）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前豊に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。（チームワーク）：規律性</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。</p> <p>②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。</p> <p>③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。</p> <p>④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。</p> <p>⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。</p>		
授業計画	1	<p>茶室・露地・炭点前</p> <p>【禅語】「月白風清」</p> <p>【ワンポイント】「炭の力」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①炭点前DVD</p> <p>②炭の説明</p> <p>③炉濃茶置き合わせ確認</p> <p>④炉濃茶点前前確認</p> <p>【学習課題】 予習：教科書P63～P69 風炉炭点前 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する</p> <p>⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	2	<p>炉濃茶点前披露</p> <p>【禅語】「水急不流月」</p> <p>【ワンポイント】「中秋の名月」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①炉濃茶点前前半復習①</p> <p>【学習課題】 復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	3	<p>炉・風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「釣月耕雲」</p> <p>【ワンポイント】「和室の名称①」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①炉濃茶点前前半練習②</p> <p>【学習課題】 復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p> <p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>	
	4	<p>炉・風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「悠然見南山」</p> <p>【ワンポイント】「和室の名称②」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①炉濃茶点前後半練習①</p> <p>【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>【社会人基礎力】</p> <p>①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む</p>	

	<p>②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む</p> <p>③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する</p> <p>④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
5	<p>炉・風炉濃茶点前</p> <p>【禅語】「独座大雄峰」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（1月～3月） 【授業内容】 ①炉濃茶点前後半練習② 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
6	<p>立礼点前披露</p> <p>【禅語】「直心是道場」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（4月～6月） 【授業内容】 ①立礼見本点前 ②立礼点前確認 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
7	<p>立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <p>【禅語】「教外別伝不立文字」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（7月～9月） 【授業内容】 ①立礼、炉濃茶点前練習① 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②実行力（目的を設定し確実に行動する力） ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む ③課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ④柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力） ：自分の意思を持ちながら、他人の良い意見を共感を持って受け入れる ⑤規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
8	<p>立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <p>【禅語】「古今無二路」 【ワンポイント】「祝日・休日について」（10月～12月） 【授業内容】 ①立礼・炉濃茶点前練習② 【学習課題】 復習：点前の自主練習を行う 【社会人基礎力】 ①課題発見力（状況を分析し目的や課題を明らかにする力） ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する ②計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力） ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる ③状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
9	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語】「守拙全天真」 【ワンポイント】「縁起物（だるま）」</p>

	<p><b>【授業内容】</b>  ①茶道大会 亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ  (3パートを20分ずつローテーション)  ・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方  ・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる  ・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力)  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ②計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)  ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる  ③状況把握力 (自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力)  ：周囲から期待されている自分の役割を把握して行動する  ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
10	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p><b>【禅語】</b>「報恩謝徳」  <b>【ワンポイント】</b>「縁起物(鶴亀)」</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①茶道大会の道具説明  ②茶道大会当日の役割の練習に参加する</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性 (物事に進んで取り組む力)  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②傾聴力 (相手の意見を丁寧に聞く力)  ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する  ③規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
11	<p>茶道大会反省会・釜仕舞い</p> <p><b>【禅語】</b>「門外有松風」  <b>【ワンポイント】</b>「正月飾りについて」</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①お別れの茶会の流れを冊子、映像で学ぶ  ②釜仕舞い  ③点て出し</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①実行力 (目的を設定し確実に行動する力)  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ②課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力)  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ③計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)  ：作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てる  ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
12	<p>初釜</p> <p><b>【授業内容】</b> 軸「高砂」「松に双鶴」  ①初釜(濃茶点前)  ②点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方  ③初釜の道具組について説明を聞く  ④各班に分かれて新年の抱負を語る</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①傾聴力 (相手の意見を丁寧に聞く力)  ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する  ②発信力 (自分の意見をわかりやすく伝える力)  ：事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝える  ③規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>
13	<p>学習のまとめ</p> <p><b>【禅語】</b>「一華開五葉」  <b>【ワンポイント】</b>「縁起物(松竹梅)」</p> <p><b>【授業内容】</b>  ①薄茶、濃茶点前練習・学習帳まとめ  ②立礼・炉濃茶点前練習</p> <p><b>【社会人基礎力】</b>  ①主体性 (物事に進んで取り組む力)  ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む  ②実行力 (目的を設定し確実に行動する力)  ：小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組む  ③課題発見力 (状況を分析し目的や課題を明らかにする力)  ：成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握する  ④規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)  ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p>

	<p>14 松芳忌 【ワンポイント】「愛別離苦」 【授業内容】 ①松芳忌、礼拝練習 ②経歴紹介（映像にて） ③献茶 ④教職員・学生礼拝 ⑤講話 ⑥自己評価・アンケート・学習帳 【社会人基礎力】 ①傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ②状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力） ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する</p> <p>15 卒業記念茶会（別れの茶会） 【禅語】「白珪尚可磨」 【授業内容】お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躰り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③点前練習・水屋で点て出し 【学習課題】 予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる 【社会人基礎力】 ①主体性（物事に進んで取り組む力） ：自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む ②働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力） ：相手を納得させるために、協力することの必然性（意義、理由、内容など）を伝える ③傾聴力（相手の意見を丁寧に聞く力） ：内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解する ④規律性（社会のルールや人との約束を守る力） ：相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解する ⑤ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力） ：ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除く</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。（アクション）：主体性 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。（シンキング）：課題発見力 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。（チームワーク）：柔軟性 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。（チームワーク）：規律性 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。（チームワーク）：傾聴力</p> <p>授業への参加意欲や授業態度：茶道文化の授業に積極的に参加し、茶道大会の企画運営への携わり方。15% 授業の理解度：教科書や学習帳で予習、復習をし、講義の内容を分かりやすくまとめているかを学習帳で確認。10% 毎回の学習帳や最終回の感想文：お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を得ているか。筆記試験 60% 濃茶点前：濃茶点前を正確にできるようになったか。身に付けたマナーや作法を日常生活で生かしているかといった行動や感想 15%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること
履修上の注意	<p>茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である）：主体性 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える）：働きかけ力 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学习）：課題発見力 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）：実行力</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。（チームワーク）：状況把握力
備考・メッセージ	<p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。（シンキング）：計画力 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。（チームワーク）：柔軟性 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。（アクション）：実行力 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。（シンキング）：計画力 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。（シンキング）：創造力 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。（シンキング）：課題発見 ⑥日本の礼法を学びましょう。（アクション）：主体性 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。（チームワーク）：発信力</p>

⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。(チームワーク)：規律性

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
川原 ゆかり			

講義概要	<p>①女性学とは何かについて学ぶ。歴史的・文化的・社会的・法的変遷の中の女性の生き方について学ぶ。女性とエンパワーメントについて見識を深める。</p> <p>②フェミニズムの理論について知る。ジェンダー問題について学ぶ。女性の二極化について認識を深める。</p> <p>③女性と家庭問題について考察する。結婚について考える。女性と子育てや働くことについて学習する。</p> <p>④母親と児童虐待について考える。DVについての見識を深める。母子世帯の抱える問題について学習する。</p> <p>⑤性同一性障害などセクシャリティの多様性について学び、性の商品化について考える。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション・自分史レポート・女性学概論 「女性と自分史」についてのレポート及びアンケート調査 学習課題 復習： 予習：</p> <p>2 結婚について 結婚の定義 学習課題 復習： 予習：</p> <p>3 セクシャリティの多様性 セクシャルティとセクシュアル、マイノリティ 身体が多様性 学習課題 復習： 予習：</p> <p>4 セクシャリティの多様性 性同一性障害・同性愛について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>5 女性と労働 日本型雇用の中の女性の職業と働くこと 学習課題 復習： 予習：</p> <p>6 ジェンダーについて 性と生殖と生～世界の出産・プルミエール～ 学習課題 復習： 予習：</p> <p>7 女性・母親の子育て 子育てに対する意識・子育ての変化  学習課題 復習： 予習：</p> <p>8 困難を抱える女性と社会福祉 DVに見る女性の意識と生き方について 学習課題 復習： 予習：</p> <p>9 困難を抱える女性と社会福祉 DV法について学習する 学習課題 復習： 予習：</p> <p>10 虐待を受けた子ども 人権侵害としての性的虐待を受けた女性の生き方 学習課題 復習： 予習：</p> <p>11 生き方の困難を抱える母親 ネグレストの事例に見る女性・母親の生き方を考える 学習課題 復習： 予習：</p> <p>12 生き方の困難を抱える母親 事例に見る地域社会・保育者の有り様について考える 学習課題 復習： 予習：</p> <p>13 女性と援助交際・犯罪 援助交際に見る女性の生き方を考える 学習課題 復習： 予習：</p> <p>14 女性と高齢者問題 少子高齢者社会における女性の生き方 学習課題 復習： 予習：</p>

	15 女性行政の歴史と課題について知る 女性としての生き方を考える総合学習 学習課題 復習： 予習：
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①女性学とは何か？について学び、フェミニズムの視点を持つことができる。 ②ジェンダー平等をめぐる歴史と理論について学び、ジェンダーについて理解することができる。 ③女性史と結婚・家庭問題・子育て・労働について見識を深め、女性としての生き方について学ぶことができる。 ④困難を抱える女性と社会福祉（母子世帯の現状・暴力と女性～DV～）について学び、諸々の支援制度について学ぶことができる。 ⑤セクシャリティの多様性（性同一性障害・同性愛）・売買春について学び、女性の性とその生き方について再認識できるようになる。  評価は、授業内レポート、授業への取り組み状況、筆記試験を総合しておこなう。  授業内レポート（20%）、筆記試験（80%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：『女性学入門』 杉本貴代栄 編著 ミネルヴァ書房 2,500円 参考書：『少子化時代のジェンダーと母親意識』 目黒依子・矢澤澄子 編 新曜社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後及び、昼休み、授業外に研究室に気軽に来てください。
備考・メッセージ	テーマ毎に実話に基づくDVDや担当教員の臨床例を通して、具体的に女性の生き方を考え、女性としてのアイデンティティを確立し、保育者の自立的な生き方を追求する。毎回、授業集中度及び理解度のアンケート調査を行う。



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			
日本人クラス			

講義概要	介護の現場では円滑な対人関係の構築が重要であり、そのためのツールとして「日本語の読み書き」の能力は必須である。そこで、学生の興味ある話題や課題に関する文書を読みながらその内容をつかんで要約したり、自分の考えを文章にまとめたりするという実践的な活動を通じて、日本語の総合力を高めていく。		
授業計画	1	授業に関するオリエンテーション 授業の進め方の説明と日本語プレースメントテスト①  学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	2	エッセイなどの短文の読み方1 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル1  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル1でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	3	エッセイなどの短文の読み方2 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル2  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル2でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	4	エッセイなどの短文の読み方3 把握した著者の考えを要約して文章にする（1）。ドリル3  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル3でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	5	エッセイなどの短文の読み方4 把握した著者の考えを要約して文章にする（2）。ドリル4  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル4でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	6	エッセイなどの短文の読み方5 学んだ表現法をもとにエッセイ風の文章を書いてみる。ドリル5  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル5でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	7	説明文などの短文の読み方1 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル6  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル6でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	8	説明文などの短文の読み方2 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル7  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル7でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	9	説明文などの短文の読み方3 把握した著者の主張を要約して文章にする（1）。ドリル8  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル8でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	10	説明文などの短文の読み方4 把握した著者の主張を要約して文章にする（2）。ドリル9  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル9でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	11	説明文などの短文の読み方5 学んだ表現法をもとに自分の主張を述べる文章を書いてみる。ドリル10  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル10でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	12	エッセイなどの長文の読み方1 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル11  学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル11でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。	
	13	エッセイなどの長文の読み方2 把握した著者の考えを要約して文章にする。ドリル12	

	<p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル12でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>14 説明文などの長文の読み方1 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル13</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル13でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>15 説明文などの長文の読み方2 把握した著者の主張を要約して文章にする。日本語プレースメントテスト②</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとプレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：試験の準備</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①さまざまな文章の中で用いられている語句の適切な意味を理解できる。 ②書かれている内容を理解し、著者の考えまたは主張を正しく把握できる。 ③読解した内容を要約して、それを自分の言葉で表現（話す・書く）できる。 ④適切な表現法を学び、それをを用いて自分の考えや主張を作文できる。 ⑤漢字や言葉使い等に関する一般常識を身につける。</p> <p>平素の学習意欲及び授業内で数回提出するレポート、評価期間中の試験の結果等を総合的に評価する。</p> <p>学習意欲20%、レポート30%、試験50%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：使用しない。毎回授業でプリントを配る。 参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週水曜日16:30-18:00
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			
留学生クラス			

講義概要	介護の現場では円滑な対人関係の構築が重要であり、そのためのツールとして「日本語の読み書き」の能力は、たとえ留学生であっても必須である。そこで、学生の興味ある話題や課題に関する比較的平易な文書を読みながらその内容をつかんで要約したり、自分の考えを文章にまとめたりするという実践的な活動を通じて、日本語の総合力を高めていく。
授業計画	<p>1 授業に関するオリエンテーション 授業の進め方の説明と日本語プレースメントテスト①</p> <p>学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>2 エッセイなどの短文の読み方1 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル1</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル1でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>3 エッセイなどの短文の読み方2 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル2</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル2でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>4 エッセイなどの短文の読み方3 把握した著者の考えを要約して文章にする（1）。ドリル3</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル3でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>5 エッセイなどの短文の読み方4 把握した著者の考えを要約して文章にする（2）。ドリル4</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル4でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>6 エッセイなどの短文の読み方5 学んだ表現法をもとにエッセイ風の文章を書いてみる。ドリル5</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル5でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>7 説明文などの短文の読み方1 語句の意味やその適切な使い方を学ぶ。ドリル6</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル6でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>8 説明文などの短文の読み方2 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル7</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル7でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>9 説明文などの短文の読み方3 把握した著者の主張を要約して文章にする（1）。ドリル8</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル8でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>10 説明文などの短文の読み方4 把握した著者の主張を要約して文章にする（2）。ドリル9</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル9でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>11 説明文などの短文の読み方5 学んだ表現法をもとに自分の主張を述べる文章を書いてみる。ドリル10</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル10でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>12 エッセイなどの長文の読み方1 文章の内容を理解し著者の考えを把握する。ドリル11</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル11でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>13 エッセイなどの長文の読み方2</p>

	<p>把握した著者の考えを要約して文章にする。ドリル12</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル12でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>14 説明文などの長文の読み方1 文章の内容を理解し著者の主張を把握する。ドリル13</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとドリル13でできなかった問題のやり直し 予習：次回用配布プリントを読んでおく。</p> <p>15 説明文などの長文の読み方2 把握した著者の主張を要約して文章にする。日本語プレースメントテスト②</p> <p>学習課題 復習：配布プリントの読み直しとプレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：試験の準備</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①さまざまな文章の中で用いられている介護に関する語句の適切な意味を理解できる。 ②介護に関して書かれている内容を理解し、著者の考えを把握できる。 ③介護に関する適切な表現法を学び、それを用いて自分の考えを話すことができる。 ④介護に関する適切な表現法を学び、それを用いて自分の考えを書くことができる。 ⑤漢字や言葉使い等に関する日本語の一般常識を身につける。</p> <p>平素の学習意欲及び授業内で数回提出するレポート、評価期間中の試験の結果等を総合的に評価する。 学習意欲20%、レポート30%、試験50%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：授業開始後に指示する。 参考書：授業を通して紹介する。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週水曜日16:30-18:00
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語

授業コード：44242

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	
授業計画	
授業形態	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	選択
担当教員			
中尾 健一郎			

講義概要	①レクリエーションの実践に必要な技術について理解する ②レクリエーションとスポーツとの関係について理解する ③ニュースポーツの体験を通してレクリエーションとしてのスポーツを理解する ④グループでレクリエーションを企画する ⑤企画したレクリエーションを発表し、相互に評価する
授業計画	<p>1 レクリエーション指導者・援助者としての必要な技術について 福祉領域においてレクリエーションを実践するポイントについて学ぶ</p> <p>学習課題 復習：配布資料を参考に福祉用域におけるレクリエーション実践のポイントをまとめる 予習：チャレンジザゲームについて調べる</p> <p>2 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供① チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ・キャッチングザスティック・バンブーダンス）</p> <p>学習課題 復習：チャレンジザゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法を調べる</p> <p>3 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供② ネイチャーゲームの実践</p> <p>学習課題 復習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ペタングの歴史的背景やルールについて調べる</p> <p>4 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供③ ペタングの実践</p> <p>学習課題 復習：ペタングの実践方法についてまとめる 予習：インディアカの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>5 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供④ インディアカの実践</p> <p>学習課題 復習：インディアカの実践方法についてまとめる 予習：コアトレ、ストレッチの方法について調べる</p> <p>6 対象者間の相互作用の活用方法 コアストレッチ&amp;トレーニングの実践</p> <p>学習課題 復習：ストレッチ、コアトレを自宅で実践してみる 予習：スポンジボールテニスのルールについて調べる</p> <p>7 対象に合わせたレクワークとアレンジ法① スポンジボールテニスの実践</p> <p>学習課題 復習：スポンジボールテニスの実践方法についてまとめる 予習：ソフトバレーボールの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>8 対象に合わせたレクワークとアレンジ法② ソフトバレーボールの実践</p> <p>学習課題 復習：ソフトバレーボールの実践方法についてまとめる 予習：ティボールの歴史的背景やルールについて調べる</p> <p>9 対象に合わせたレクワークとアレンジ法③ ティボールの実践</p> <p>学習課題 復習：ティボールの実践方法についてまとめる 予習：アルティメットの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>10 対象に合わせたレクワークとアレンジ法④ アルティメットの実践</p> <p>学習課題 復習：アルティメットの実践方法についてまとめる 予習：フットサルの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>11 対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑤ フットサルの実践</p> <p>学習課題 復習：フットサルの実践方法についてまとめる 予習：ボルダリングの歴史的背景と実践方法についてまとめる</p> <p>12 対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑥ ボルダリングの実践</p> <p>学習課題 復習：ボルダリングの実践方法についてまとめる 予習：グループで行うレクリエーションプランを考える</p>

	<p>1 3 レクリエーションプログラムの企画 グループでのレクリエーションプログラムを作成する</p> <p>学習課題 復習：計画したレクリエーションプログラムについて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる</p> <p>1 4 レクリエーションプログラムの実践① グループで企画したレクリエーションプログラムを発表する</p> <p>学習課題 復習：前半グループは発表内容を振り返り、後半グループは計画したレクリエーションプログラムについて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる</p> <p>1 5 レクリエーションプログラムの実践の振り返り 実践したレクリエーションプログラムの振り返りを行う</p> <p>学習課題 復習：改善点を活かしたプログラムについて考えてみる</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①福祉領域においてレクリエーションのありかたについて説明できるようになる</p> <p>②レクリエーション活動のポイントについて説明できるようになる</p> <p>③ニュースポーツについて説明できるようになる</p> <p>④レクリエーションプログラムの企画する際の留意点について説明できるようになる</p> <p>⑤レクリエーション活動を評価するポイントについて説明できるようになる</p> <p>授業に取り組む姿勢（20%） レクリエーションプログラム発表の評価（30%） 期末レポート（50%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：高齢者のためのかんたん・楽しいレクリエーション 生活介護研究所 ナツメ社
履修条件	
履修上の注意	実技の際は装飾品ははずし運動ができる服装を準備すること（場所は体育館）
オフィスアワー	毎回の授業前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	レクリエーション活動としての運動やスポーツについて興味関心をもって取り組みこと

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択
担当教員			
久田 裕己			

講義概要	<p>①文書作成ソフト（Word）によるビジネス文書作成、図形描画を学習する。          ②表計算ソフト（Excel）を使い、基本操作と基本関数を学習する。          ③インターネットを使用する上で必要な社会ルールやセキュリティ対策、著作権について理解し、ホームページ閲覧により必要な情報収集や検索方法などを身につける。          ④プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する。</p>		
授業計画	4/27	<p>オリエンテーション          短大（NJC）システムへのログイン          フォルダ作成          Googleアカウントへのログイン          ファイルの移動とコピー</p>	
	5/11	<p>文書作成ソフト（1）          タッチタイピング          文字入力（五十音・拗音・促音）</p>	
	5/11	<p>文書作成ソフト（2）          文字入力（アルファベット・記号）          入力テクニック（変換の訂正、入力ミスの訂正、文節長さの変更）</p>	
	5/18	<p>文書作成ソフト（3）          ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定）</p>	
	5/18	<p>文書作成ソフト（4）          表枠作成（表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾）</p>	
	5/25	<p>文書作成ソフト（5）          課題作成（ビジネス文書作成）</p>	
	5/25	<p>学習課題 復習：レイアウトを整えたビジネス文書を完成させ、印刷し提出を行う          表計算ソフト（1）          Excelの基本操作（データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定）          計算式の組み立て（加減乗除）          学習課題 復習：テキストにある表作成や計算式の練習問題を行う</p>	
	6/1	<p>表計算ソフト（2）          関数（SUM、AVERAGE、TODAY）          セルの書式設定（フォント、配置、表示形式、罫線）          学習課題 復習：テキストにある表作成や計算式の練習問題を行う</p>	
	6/1	<p>表計算ソフト（3）          課題作成（介護計画書の作成）          学習課題 復習：レイアウトを整えた介護計画書を完成させ、印刷し提出を行う</p>	
	7/13	<p>情報モラル          スマホ、Googleサービスの活用          Word、Excel文書へのパスワード設定          学習課題 復習：介護実習で撮影した写真や動画などを、スマホやGoogleサービスを使って、パソコンへ転送する</p>	
	7/13	<p>文書作成（6）          図形の基本操作（図形描画、書式設定）          イラスト、写真の挿入</p>	
	7/20	<p>文書作成（7）          課題作成（介護施設だよりの作成）          学習課題 復習：レイアウトを整えた介護施設だよりを完成させ、印刷し提出を行う</p>	
	7/20	<p>プレゼンテーションソフト（1）</p>	



	<p>スライドのデザイン設定（表枠・図・グラフの挿入）、Excelとの連動 スライドショーの実行（画面切替効果・アニメーションの設定）</p> <p>学習課題 復習：介護実習の報告スライド作成に必要な素材や情報を収集する</p> <p>7/27 プレゼンテーションソフト（2） 課題作成（介護実習の報告スライド）</p> <p>学習課題 復習：発表するための準備を完了させる</p> <p>7/27 プレゼンテーションソフト（3） 最終課題発表（プレゼンテーションと発表、振り返り）</p> <p>学習課題 復習：効果的な手法でのプレゼンテーション発表の振り返りを行い、改善点を考える</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①Wordを使い、図や写真を挿入した介護施設だよりを作成し、印刷ができる。 ②Excelを使い、住所録や介護計画書など、介護現場に必要なシートの作成ができる。 ③インターネットを活用した情報収集や、セキュリティ知識、情報モラルについての知識を習得している。 ④PowerPointを活用し、介護実習の成果発表資料の作成と発表ができる。</p> <p>積み上げ式の授業内容となるため、毎回提出する課題作成を重視し、プレゼンテーションについては実演発表を行い、学習の取り組みや経過を加味し評価を行なう。</p> <p>文書作成（Word）の課題：30% 表計算（Excel）の課題：30% 情報モラルの課題：10% プレゼンテーション（PowerPoint）の課題・発表：30%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	選択
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	<p>少子高齢化や個人化という社会の変化の中で、福祉文化はどのような状況にあり、どのように創造されるのであろうか。より豊かな生活を実現していくためにどのような福祉文化が望ましいのか。またそのような福祉文化をどのように形成していくのかということについて現状の理解とその方策を探る。</p>
授業計画	<p>1 福祉文化の定義 学習課題 復習：福祉文化の定義を振り返っておくこと。 予習：テキスト「高齢世代の動向と福祉文化」を読んでおくこと。</p> <p>2 高齢世代の動向と福祉文化 学習課題 復習：高齢世代の福祉文化はどのように現れているのかを振り返っておくこと。 予習：テキスト「第1章ハッピーリタイアメント」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>3 福祉文化の内容と創造の方法 ①引退後の生活と福祉文化の創造（前半） 学習課題 復習：引退後の生活と福祉文化の関係を振り返っておくこと。 予習：テキスト「第1章ハッピーリタイアメント」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>4 福祉文化の内容と創造の方法 ①引退後の生活と福祉文化の創造（後半） 学習課題 復習：引退後の生活と福祉文化の関係を振り返っておくこと。 予習：テキスト「第2章高齢者協同組合の取り組み」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>5 福祉文化の内容と創造の方法 ②高齢者協同組合の取り組みと福祉文化（前半） 学習課題 復習：高齢者協同組合の取り組みと福祉文化の関係を振り返っておくこと。 予習：テキスト「第2章高齢者協同組合の取り組み」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>6 福祉文化の内容と創造の方法 ②高齢者協同組合の取り組みと福祉文化（後半） 学習課題 復習：高齢者協同組合の取り組みと福祉文化の関係を振り返っておくこと。 予習：テキスト「第3章高齢者と福祉文化」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>7 福祉文化の内容と創造の方法 ③高齢者と福祉文化（前半） 学習課題 復習：高齢者と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第3章高齢者と福祉文化」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>8 福祉文化の内容と創造の方法 ③高齢者と福祉文化（後半） 学習課題 復習：高齢者と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第4章認知症高齢者と福祉文化活動」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>9 福祉文化の内容と創造の方法 ④認知症高齢者と福祉文化活動（前半） 学習課題 復習：認知症高齢者と福祉文化活動について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第4章認知症高齢者と福祉文化活動」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>10 福祉文化の内容と創造の方法 ④認知症高齢者と福祉文化活動（後半） 学習課題 復習：認知症高齢者と福祉文化活動について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第5章施設と福祉文化」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>11 福祉文化の内容と創造の方法 ⑤施設と福祉文化（前半） 学習課題 復習：施設と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第5章施設と福祉文化」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>12 福祉文化の内容と創造の方法 ⑤施設と福祉文化（後半） 学習課題 復習：施設と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第6章予防福祉と福祉文化」（前半）を読んでおくこと。</p> <p>13 福祉文化の内容と創造の方法 ⑥予防福祉と福祉文化（前半） 学習課題 復習：予防福祉と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：テキスト「第6章予防福祉と福祉文化」（後半）を読んでおくこと。</p> <p>14 福祉文化の内容と創造の方法 ⑥予防福祉と福祉文化（後半） 学習課題 復習：予防福祉と福祉文化について振り返っておくこと。 予習：福祉文化の定義を振り返っておくこと。</p> <p>15 発表・まとめ 学習課題 復習：各グループの発表を振り返る。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①福祉文化の定義を説明することができる。 ②福祉文化は生活の中でどのように現れているのかを説明することができる。 ③福祉文化を創造する活動の内容を理解することができる。 ④福祉文化を創造する活動の方法を理解することができる。 ⑤施設における福祉文化をどのように考え、どのように形成するのかを説明することができる。</p> <p>評価は授業態度10%、レポート20%、発表70%を総合して行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	

教科書・参考書	教科書：『福祉文化論』一番ヶ瀬康子ほか編、有斐閣。 参考書：『地域社会と福祉文化』日本福祉文化学会編、明石書店。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	講義
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	①福祉とは何か、人間の尊厳とは何かについて理解する。 ②自律と自立について、またさまざまな自立のあり方について理解する。 ③介護における人間理解、個別化について理解する。 ④介護における専門性について理解する。 ⑤介護における障害者、要介護者、介護家族の自立支援について理解する。
授業計画	<p>1 人間の尊厳と自律・自立①福祉とは 福祉とは何か、社会福祉と幸福の本質について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>2 人間の尊厳と自律・自立②人間の尊厳とは 人間の尊厳とは何か、個人の尊重や自己実現についての価値観を通して理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>3 人間の尊厳と自律・自立③自律と自立 自律と自立の関係について、エリクソンの発達課題をヒントに理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>4 人間の尊厳と自律・自立④人の自立と主体性 人の自立と主体性について、主要な考え方を理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>5 人間の尊厳と自律・自立⑤さまざまな自立のあり方 障害者や高齢者の自立とは何かについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>6 介護福祉と人間理解①人の幸福を支えるとは 人それぞれの幸福を福祉の専門職として支えることについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>7 介護福祉と人間理解②介護福祉とは 介護福祉の本質について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>8 介護福祉と人間理解③介護福祉実践に求められる人間理解 人間理解とは何か、その人らしく生きるとはどういうことか、障害や家族を通して理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第6章を読んでおくこと</p> <p>9 介護福祉と人間理解④利用者を個別化することの大切さ 利用者を個別化して接する意味と大切さについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>10 介護福祉と人間理解⑤利用者を理解し支える専門性 専門性の前提条件を考え、社会福祉や介護福祉士の専門性について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>11 介護における尊厳の保持・自立支援①尊厳ある状態を支える介護 介護を受ける人の気持ちを理解し、要介護者の尊厳ある状態について考える 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>12 介護における尊厳の保持・自立支援②介護における人権と尊厳 介護における人権と尊厳について、様々な角度から理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p>

	<p>1 3 介護における尊厳の保持・自立支援③介護における自立支援～障害者の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、障害者について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>1 4 介護における尊厳の保持・自立支援④介護における自立支援～要介護者の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、要介護者について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>1 5 介護における尊厳の保持・自立支援⑤介護における自立支援～介護家族の自立支援～ 介護における自立支援とは何か、介護家族について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間の尊厳について説明できる。 ②人間の自律・自立について説明できる。 ③介護における人間理解について説明できる。 ④利用者を支える専門性について説明できる。 ⑤介護における自立支援について説明できる。</p> <p>授業への意欲を評価し、達成目標に関する理解度については筆記試験で評価する。</p> <p>筆記試験90%、授業への意欲10%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会編集『新・介護福祉士養成講座1 人間の理解 第3版』中央法規、2016年。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	評価は筆記試験の成績が大きいので、テキストの予習復習を欠かさないこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	講義
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	<p>①人間関係の機能とストレスについて理解する。          ②人間関係形成の基本的プロセスを踏まえ、援助を必要とする人々との人間関係の形成について理解する。          ③コミュニケーションとは何か、意義や特性について理解する。          ④様々なコミュニケーションの技法について理解する。          ⑤人間関係を育てるコミュニケーションについて考察し理解する。</p>
授業計画	<p>1 人間関係の機能① 自己形成の過程について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>2 人間関係の機能② 自我の発達について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>3 人間関係の機能③ 人間の欲求について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>4 人間関係のストレスとコーピング ストレスとその対処法について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>5 人間関係のプロセス 人間関係形成について基本プロセスと緊密化とは何か理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>6 援助を必要とする人々との人間関係の形成① 援助を受ける人の心理について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>7 援助を必要とする人々との人間関係の形成② 援助者としての人間関係について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>8 対人関係とコミュニケーション コミュニケーションの機能と特性について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキスト第6章を読んでおくこと</p> <p>9 コミュニケーションの様態① 話し言葉による言語コミュニケーションについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>10 コミュニケーションの様態② 読み書きによる言語コミュニケーションについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>11 コミュニケーションの様態③ 非言語コミュニケーションについて理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>12 コミュニケーションの様態④ コミュニケーションによる人間関係の変化について理解する 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p>

	<p>13 人間関係を育てるコミュニケーション① カウンセリング技法について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>14 人間関係を育てるコミュニケーション② 交流分析について理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと 予習：テキストの次回該当範囲を読んでおくこと</p> <p>15 人間関係を育てるコミュニケーション③ アサーションについて理解する</p> <p>学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間関係の機能を説明できる。 ②人間関係形成のプロセスを説明できる。 ③コミュニケーションの機能と特性及び様態について説明できる。 ④援助を必要とする人々との人間関係の形成について説明できる。 ⑤人間関係を育てるコミュニケーションの技法を説明できる。</p> <p>授業への参加意欲を評価し、達成目標に関する理解度については筆記試験で評価する。</p> <p>筆記試験90%、授業への意欲10%</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：新・介護福祉士養成講座 〔編集〕介護福祉士養成講座編集委員会 『人間の理解』第3版 中央法規
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	評価は筆記試験の成績が大きいので、テキストの予習復習を欠かさないこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	講義
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	個人を取り巻く社会環境は変化している。家族、集団、地域、制度は個人の生活とどのような関連をもっているのだろうか。それらの現状と変化、個人の生活との関連について基本的な理解を深める。
授業計画	<p>1 家庭生活の基本機能 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家族制度（夫婦家族制、直系家族制、複合家族制）について調べておくこと。</p> <p>2 家族（家族制度と家族の機能） 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：家族観について調べておくこと。</p> <p>3 家族（家族の変容、家族観の多様化） 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域の集団・組織について調べておくこと。</p> <p>4 地域（都市化と地域の集団・組織） 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：アソシエーションとセルフヘルプグループの意味について調べておくこと。</p> <p>5 アソシエーションとセルフヘルプグループ 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：ライフスタイルについて調べておくこと。</p> <p>6 社会構造とライフスタイルの変化 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域福祉の意味について調べておくこと。</p> <p>7 地域における生活支援 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：自助、互助、共助、公助の意味について調べておくこと。</p> <p>8 今日的な支え合いのありようについて 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。</p>
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①家族の機能、変容について理解を深める。 ②地域の変容とコミュニティについて理解を深める。 ③地域社会の集団・組織の機能について理解を深める。 ④社会構造の変化と、社会と生活の関連について理解を深める。 ⑤地域における生活支援について理解を深める。</p> <p>授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解』中央法規。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	4単位	必修
担当教員			
太田 茂美・北村 光子			
実務教員			

講義概要	<p>①介護の意義と役割及び専門性について介護の歴史や関連法規を通して理解する。</p> <p>②ノーマライゼーションやICFなどから介護を必要とする人を「生活する人」として受けとめることができる。</p> <p>③一人一人の利用者の意向や生き方、生活習慣等“その人らしさ（個別性）”を理解できる。</p> <p>④尊厳を守る介護、自立に向けた介護について理解を深め、介護の専門性を理解する。</p> <p>⑤利用者が安心して生きがいのある生活が過ごせるような生活環境を整え、危機管理や関係職種間の連携のあり方を理解する。</p>
授業計画	<p>1 介護とは 日本における介護の成り立ちを理解し介護の概念・定義を学ぶ。 学習課題 予習：テキスト p 2～22までを読む。</p> <p>2 介護とは 介護の変換から介護問題の背景を探る。 学習課題 復習：テキスト p 2～13までを読む。 予習：介護の考え方について文献を検索する</p> <p>3 介護とは 1、2回目の授業から今後の介護問題を推測する（演習1-1、1-2）。 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキスト p 24～58まで読む。</p> <p>4 「生活支援」としての介護 介護の専門性を学ぶ。 学習課題 復習：自立・自律支援について考える。 予習：テキスト p 59～63まで読む。</p> <p>5 「生活支援」としての介護 自分の「介護観」について学ぶ。 学習課題 復習：自分の介護観についてまとめる。 予習：介護観に関する文献収集</p> <p>6 「生活支援」としての介護 自立に向けた介護や他者への共感的関わり（演習1-3、1-4） 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキスト p 66～74まで読む</p> <p>7 私たちの生活の理解 生活の意味、特性を理解する。 学習課題 復習：今までの自分の生活の振り返りをする。 予習：演習2-1、2-3をする。</p> <p>8 私たちの生活理解 周囲の生活を考え学ぶ。 学習課題 復習：演習を通して地域の生活を考える。 予習：演習2-2をする。</p> <p>9 私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化） 学習課題 復習：ノートを見直す 予習：地域の生活文化・福祉文化について調べる</p> <p>10 私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…学外 学習課題 復習：地域の文化を調査した項目をまとめる 予習：佐世保市の地域文化・生活文化について文献収集</p> <p>11 私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…学外 学習課題 復習：地域の文化を調査した項目をまとめる 予習：佐世保市の地域文化・生活文化について文献収集</p> <p>12 私たちの生活理解 居住している地域の生活を考える（生活文化・福祉文化）…パワーポイントにて各グループ発表 学習課題 復習：他のグループの資料を見る。 予習：テキスト p 79～92を読む。</p> <p>13 高齢者や障害をもった人たちの暮らしと介護 QOLの視点をもった介護 学習課題 復習：ノートを見直す 予習：演習2-4をする。</p> <p>14 高齢者や障害をもった人の暮らしと介護 QOLの視点をもった介護…演習2-4、2-5 学習課題 復習：テキスト p 79～94まで読む 予習：自分らしさを考える</p> <p>15 「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解 その人らしさを考える。 学習課題 復習：ノートを見直す。</p>

16	予習：演習2-6、2-7 「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解 個別支援の視点を学ぶ。 学習課題 復習：演習を通して個別支援の大切さを考える。 予習：テキスト p 111～119を読む。
17	生活障害の理解 生活障害の視点 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習2-8、2-9をする。
18	生活障害の理解 生活障害の視点…演習2-8、2-9 学習課題 復習：他のグループの発表を聴き新しい情報を記録する。 予習：テキスト p 121～126まで読む。
19	生活環境の重要性 利用者の生活環境 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキスト p 126～135まで読む。
20	生活環境の重要性 利用者の居場所づくり 九文幼稚園（福祉のイメージアップ） 学習課題 復習：高齢者と子供の関わり 予習：寸劇の内容を考える
21	生活環境の重要性 利用者の居場所づくり 学習課題 復習：寸劇・物づくり 予習：演技のシュミレーション
22	さまざまな生活支援とその意義 九文幼稚園訪問 学習課題 復習：福祉が子供に及ぼす影響について考える。 予習：九文幼稚園を通して福祉についてレポートまとめ
23	さまざまな生活支援とその意義 介護職が行う生活支援 生活支援を見出す相談援助と社会・文化的な援助 学習課題 復習：ノートを見直す。テキスト p 121～149まで読む。 予習：演習2-10、2-11、3-1、3-2、3-3をする。
24	さまざまな生活支援とその意義 生活支援を見出す相談援助と社会・文化的な援助…演習3-1、3-2、3-3 学習課題 復習：テキスト p 150～155まで読む。 予習：テキスト p 158～170まで読む。
25	尊厳を支える介護 ノーマライゼーションの実現 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習3-4、3-5をする。
26	尊厳を支える介護 ノーマライゼーションの実現…演習3-4、3-5 学習課題 復習：各グループが発表したことをまとめる。 予習：テキスト p 173～183まで読む。
27	ICFの考え方 介護におけるICFの捉え方…演習3-6、3-7 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキスト p 186～200まで読む
28	介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：市内のリハビリテーション病院について調べる。
29	介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方…リハビリテーション病院見学 学習課題 復習：テキスト p 186～200まで読む
30	介護とリハビリテーション 介護実践におけるリハビリテーションの考え方…リハビリテーション病院見学 学習課題 復習：テキスト p 186～200まで読む

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①介護とは何かを歴史的経過を基に介護が必要になった理由を関連づけることができる。</p> <p>②介護の成り立ちや考え方を理解し、生活支援としての介護の役割や専門性について関連づけることができる。</p> <p>③学生自身の生活について基本的な理解を深め、その上で利用者個人の「生活ニーズ」、「その人らしさ」を大切に する介護のあり方について討議できる。</p> <p>④介護福祉士に求められている「尊厳を支える介護」の提供について考え、様々な生活支援技術の意義について言える。</p> <p>⑤介護を展開する上で関わりの深い「リハビリテーション」と関連づけることができる。</p> <p>①授業におけるグループでの課題の取り組みの態度やパワーポイントでの発表方法 30% ②紙媒体における定期評価 70% ③授業態度 を総合して評価を行う。</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座4 「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語及び私見をもって授業に臨むようにしてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	4単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	「介護の基本」は領域「介護」の基盤となる教科であることから、ケアマネジメントや職業倫理、リスクマネジメント、介護従事者の健康管理などについて学ぶことにより、安全かつ安心できる介護や信頼のおける介護の実現を理解する。		
授業計画	1	介護福祉士の現状 介護問題と介護福祉士像  学習課題 復習： 予習：テキスト p 2～8まで読む。	
	2	介護福祉士の現状 介護問題と介護福祉士像…演習1-1  学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキスト p 10～17まで読む。	
	3	社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士及び介護福祉士法  学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習1-2、1-3をする。	
	4	社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士及び介護福祉法…演習1-2、1-3  学習課題 復習：クラスメイトの発表を聴きまとめる。 予習：テキスト p 19～28まで読む。	
	5	介護における専門職能団体の活動 日本介護福祉士会の役割  学習課題 復習：テキスト p 10～17まで読む。 予習：演習1-4、1-5をする。	
	6	介護における専門職能団体の活動 様々な専門職種の職能団体…演習1-4、1-5  学習課題 復習：クラスメイトの発表を聴きまとめる。 予習：テキスト p 30～45まで読む。	
	7	介護福祉士の倫理 介護実践における倫理  学習課題 復習：ノートを見直す 予習：介護福祉士の倫理綱領を調べる	
	8	介護福祉士の倫理 介護福祉士会の倫理綱領  学習課題 復習：倫理綱領の中で重要と思う点や今後の自分の姿勢に対して考える。 予習：多職種の倫理綱領について調べる。	
	9	介護福祉士の倫理 多職種の倫理綱領…グループで発表  学習課題 復習：グループの発表を聴きまとめる。 予習：1-6、1-7をする。	
	10	介護福祉士の倫理 感染症対策の倫理実践  学習課題 復習：テキスト p 30～45まで読む。 予習：テキスト p 50～62まで読む。	
	11	介護サービスの特性 介護サービスとケアマネジメント  学習課題 復習：ノートを見直す 予習：テキスト p 63～77まで読む。	
	12	介護サービスの特性 介護サービスの歴史的変換とサービスの種類  学習課題 復習：ノートの見直し 予習：演習2-1、2-3をする。演習2-2については、実習中に尋ねる。	
	13	介護サービスの特性 介護サービス…演習2-1、2-3をする。	

14	<p>学習課題 復習：テキスト p 50～77まで読む。 予習：テキスト p 80～107まで読む。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 高齢者に対する居宅系・入所系サービス</p>
15	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習2-4、2-6をする。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 高齢者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-4、2-6</p>
16	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習2-5をする。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 高齢者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-5</p>
17	<p>学習課題 復習：テキスト p 80～107まで読む。 予習：テキスト p 108～116まで読む。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 障害者に対する居宅系・入所系サービス</p>
18	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習2-8をする。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 障害者に対する居宅系・入所系サービスと演習2-8</p>
19	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習2-7、2-9をする。</p> <p>介護サービス提供の場の特性 障害者に対する居宅系・入所系サービス…演習2-7、2-9</p>
20	<p>学習課題 復習：テキスト p 108～116まで読む。 予習：テキスト p 122～142まで読む。</p> <p>多職種連携 多職種連携の意義と目的</p>
21	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習3-1、3-2をする。</p> <p>多職種連携 多職種連携の実際と演習3-1、3-2</p>
22	<p>学習課題 復習：テキスト p 122～142まで読む。 予習：テキスト p 144～160まで読む。</p> <p>地域連携 地域連携の意義と目的と演習3-3</p>
23	<p>学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：演習3-4、3-5をする。</p> <p>地域連携 地域連携の実際と演習3-4、3-5</p>
24	<p>学習課題 復習：テキスト p 144～160まで読む。 予習：テキスト p 164～173まで読む。</p> <p>介護における安全の確保 介護における安全とリスクマネジメントと演習4-1、4-2</p>
25	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキスト p 176～188まで読む。</p> <p>事故防止、安全対策 生活の中のリスク対策と演習4-3、4-4</p>
26	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキスト p 191～199まで読む</p> <p>感染管理のための方策 生活の場での感染対策と演習4-6</p>
27	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキスト p 200～211まで読む。</p> <p>感染管理のための方策 感染対策の基礎知識と演習4-7</p>
28	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキスト p 216～231まで読む。</p> <p>健康管理の意義と目的、必要な知識 こころとからだの健康管理と演習5-1</p> <p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：演習5-2をする。</p>

	<p>29 安心して働ける環境づくり 労働環境と演習5-2</p> <p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：演習5-3、5-4</p> <p>30 今後の介護福祉士のあり方 労働環境（演習5-3、5-4）と介護福祉士の将来</p> <p>学習課題 復習：テキストp242～247まで読む。</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①「介護福祉士」が誕生した経緯や職業意識、そして介護福祉士の法的根拠から職業倫理を理解できる。</p> <p>②ケアマネジメントを理解し、介護サービス提供の環境を歴史的背景を踏まえ介護のあり方を理解できる。</p> <p>③介護に関連する職種や機関の特性を知り、チームケアの重要性を理解できる。</p> <p>④リスクマネジメントの考え方を理解し、介護場面での事故および感染症対策の実際や具体的手法について理解できる。</p> <p>⑤介護者の健康管理に必要な基礎的知識と技術が理解できる。</p> <p>授業における課題の取り組み（30%）、定期評価（70%）を総合して評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 3 「介護の基本Ⅰ」 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	自分たちの生活を振り返り、介護に関連づけて学んで下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
北村 光子 ・ 川原 ゆかり			
実務教員			

講義概要	①人間関係を成立させる為の信頼関係の重要性を理解する。 ②コミュニケーションの役割を理解する。 ③コミュニケーション技術の基礎を理解する。 ④カウンセリング技術の基礎を理解する。 ⑤介護を必要とする方々への理解を深めるとともに、それぞれの方々に応じたコミュニケーション技術を身につける。		
授業計画	1	介護におけるコミュニケーションの基本（北村） コミュニケーションとその役割 学習課題 予習：テキスト p41～51まで読む 復習：テキスト p2～p40	
	2	介護におけるコミュニケーションの基本（北村） 生活支援技術とコミュニケーション 学習課題 予習：テキスト p52～50まで読む 復習：テキスト p41～51まで読む	
	3	利用者・家族とのコミュニケーション（北村） 話を聴く技法 学習課題 予習：テキスト p61～71まで読む 復習：ノートの整理	
	4	利用者・家族とのコミュニケーション（北村） 感情表現を察する技法 学習課題 予習：テキスト p72～80まで読む 復習：ノートの整理	
	5	利用者・家族とのコミュニケーション（北村） 納得と同意を得る技法 学習課題 予習：テキスト p81～105まで読む 復習：ノートの整理	
	6	利用者・家族とのコミュニケーション（北村） 質問の技法と相談助言・指導の方法 学習課題 予習：テキスト p93～104まで読む 復習：ノートの整理	
	7	利用者・家族とのコミュニケーション（北村） 利用者の意欲を引き出す技法と利用者・家族の意向を調整する技法 学習課題 復習：ノートの整理	
	8	介護場面におけるコミュニケーションⅠ（川原） 対人援助のための心理療法Ⅰ（スクイグル）	
	9	介護場面におけるコミュニケーションⅡ（川原） 対人援助のための心理療法Ⅰ（コラージュ手法）	
	10	介護におけるチームのコミュニケーション（北村） チームのコミュニケーション 学習課題 予習：テキスト p209～227まで読む 復習：ノートの整理	
	11	介護におけるチームのコミュニケーション（北村） 介護記録の意義・目的 学習課題 予習：テキスト p232～233まで読む 復習：ノートの整理	
	12	介護におけるチームのコミュニケーション（北村） 介護記録の書き方と留意点 学習課題 予習：テキスト p234～236まで読む 復習：ノートの整理	
	13	介護におけるチームのコミュニケーション（北村） 記録の活用と情報管理 学習課題 予習：テキスト p242～246まで読む 復習：ノートの整理	

	<p>14 介護におけるチームのコミュニケーション（北村） 連絡・報告・相談の必要性 学習課題 予習：テキスト p248～256まで読む 復習：ノートの整理</p> <p>15 介護におけるチームのコミュニケーション（北村） 会議の必要性 学習課題 復習：ノートの整理</p>
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①コミュニケーションの役割がわかる。 ②人間関係を成立するための信頼関係の重要性を説明できる ③受容、傾聴、共感、要約、質問、などの、カウンセリングの基礎を身につける。 ④相談、助言、指導、の技法を適切に使い分けることができる。 ⑤利用者及び家族間の多様なコミュニケーション方法を理解できる。</p> <p>授業・演習態度（10%）、レポート・振り返りシート（20%）、定期試験（70%）を総合して評価する。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト1：適時資料を配布する。 テキスト2：介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座5 「コミュニケーション技術」中央法規出版。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。
備考・メッセージ	なるべく楽しい演習を取り入れますが、「そもそも、何のための演習だったのか」を常に意識して振り返るようになしてください。



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	4単位	必修
担当教員			
太田 茂美 北村 光子			

講義概要	高齢者・障がい者の生活全体観察し、利用者が求めている生活とは何か、自立を支えるためにはどのような支援が適切か、を考え、特に「ここからだ」の領域と関連しながら、生活支援技術について学ぶ。
授業計画	<p>1 生活を理解する視点 生活支援とは何か学び、まずは自らの生活や身近な家族、クラスメイトの生活について考える 学習課題 予習：テキスト I P2～P11</p> <p>2 生活支援の基本的な考え方 生活を理解する視点として、生活の場の特徴や生活の構成要素を学ぶ 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト I P12～P21</p> <p>3 生活支援と介護予防 日常生活における介護予防 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキストを読んでおくこと</p> <p>4 居住環境の整備 居住環境のアセスメント、環境整備の工夫と留意点（実習室） 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト I p 32～35</p> <p>5 生活支援と福祉用具の活用 I 代表的な福祉用具の種類と機能、福祉用具・住宅改修の利用（実習室） 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト I p 196～199</p> <p>6 生活支援と福祉用具の活用 II 代表的な福祉用具の種類と機能、福祉用具・住宅改修の利用（実習室） 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト I p 200～215</p> <p>7 環境整備 ベッドメイキングの方法について学ぶ（実習室） 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト II p 227～244、ベッドメイキングの方法について</p> <p>8 環境整備 ベッドメイキング実技（実習室） 学習課題 復習：ベッドメイキングの方法・実技 予習：ベッドメイキングの実技について、実習室で練習をしておくこと</p> <p>9 環境整備 ベッドメイキング実技（実習室） 学習課題 復習：ベッドメイキングの方法について 予習：ベッドメイキングの実技について、実習室で練習をしておくこと</p> <p>10 身じたく ベッドメイキング実技試験（実習室） 学習課題 復習：ベッドメイキングの方法について 予習：テキスト II を読む。</p> <p>11 移動の介護 移動の意義と目的 学習課題 復習：配布資料・ノートの見直し 予習：テキスト I p82～87まで読む。車椅子の各部の名称を覚える。</p> <p>12 移動の介護 移動・移乗における介護技術 …仰臥位から端坐位まで（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキスト I p87～119まで読む。</p> <p>13 移動の介護 移動・移乗における介護技術 …車椅子への移乗（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキスト I p131～168まで読む。</p> <p>14 移動の介護 移動・移乗における介護技術 …端坐位～歩行まで（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストを読んでおくこと。</p> <p>15 移動の介護 移動・移乗における介護技術（実習室） 学習課題 復習：各グループの発表を聴きまとめる。 予習：移動の基本的な援助技術の再確認</p> <p>16 移動の介護 移動・移乗における介護技術…実技試験（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。</p>

	予習：テキストを読んでおくこと。
17	食事の介護 食事の意義と目的 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡを読んでおくこと
18	食事の介護 食事の意義と目的 学習課題 復習：テキストⅡp74～78まで読む。 予習：テキストⅡp79～95まで読む。
19	食事の介護 食事における生活支援技術 学習課題 復習：配布資料・ノートを見直す。 予習：テキストを読んでおくこと
20	食事の介護 食事における生活支援技術 学習課題 復習：テキストⅡp79～95まで読む。 予習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
21	食事の介護 食事における生活支援技術（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認
22	食事の介護 食事における生活支援技術（実習室） 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認
23	食事の介護 食事における生活支援技術…移動も含めた実技試験 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：食事介助の基本的な援助技術の再確認
24	食事の介護 食事における生活支援技術…移動も含めた実技試験 学習課題 復習：テキストに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡp74～102まで読む。
25	身じたくの介護 口腔ケアの意義・目的 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
26	身じたくの介護 口腔ケアの生活支援技術 …（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
27	身じたくの介護 口腔ケアの生活支援技術 学習課題 復習：テキストⅡp93～95まで読む。 予習：テキストⅡp93～95まで読む。
28	身じたくの介護 着脱衣の意義目的 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
29	身じたくの介護 着脱衣の生活援助技術 …実習室 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
30	身じたくの介護 着脱衣の生活援助技術…移動も含めた実技試験 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅠp87～186、Ⅱp2～65まで読む。
31	入浴の介護 入浴・清潔保持の意義・目的 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡを読んでおくこと
32	入浴の介護 入浴・清潔保持におけるアセスメント 学習課題 復習：テキストⅡp104～146まで読む。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
33	入浴の介護 入浴・洗髪の手生活援助技術（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
34	入浴の介護 入浴・洗髪の手生活支援技術…（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
35	入浴の介護 入浴・洗髪の手生活支援技術… 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。

	予習：テキストⅡp108～146まで読む。
36	入浴の介護 部分浴・整容・清拭 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
37	入浴・整容の介護 部分浴・整容・清拭の生活支援技術…（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡを読んでおくこと
38	入浴・整容の介護 部分浴・整容・清拭の生活支援技術…（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡを読んでおくこと
39	入浴・整容の介護 部分浴・整容・清拭の生活支援技術…（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡを読んでおくこと 予習：テキストⅡを読んでおくこと
40	入浴・清潔保持・身じたくの介護 入浴・清潔保持・身じたくの介護 学習課題 復習：テキストⅡp2～73まで読む。 予習：テキストⅡp104～157まで読む。
41	入浴・清潔保持・身じたくの介護 入浴・清潔保持・身じたくの介護 学習課題 復習：テキストⅡp2～73まで読む。 予習：テキストⅡp104～157まで読む。
42	排泄の介護 排泄の意義と目的 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
43	排泄の介護 排泄のアセスメント 学習課題 復習：テキストⅡp158～162まで読む。 予習：テキストⅡp162～207まで読む。
44	排泄の介護 排泄における生活支援技術 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp208～215まで読む。
45	排泄の介護 排泄における生活支援技術 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
46	排泄の介護 排泄における生活支援技術 …（実習室） 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
47	排泄の介護 排泄における生活支援技術 …（実習室） 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
48	排泄の介護 排泄における生活支援技術 学習課題 復習：テキストp162～215まで読む。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
49	排泄の介護 排泄における生活支援技術…移動を含む実技試験（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。
50	排泄の介護 排泄における生活支援技術…移動を含む実技試験（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡに載っているイラストをみて援助技術をイメージする。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
51	睡眠の介護 睡眠の意義と目的 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡp216～226を読む。
52	睡眠の介護 睡眠のアセスメント 学習課題 復習：テキストⅡp216～226を読む。 予習：テキストⅡp227～244を読む。
53	睡眠の介護 安眠の基本的理解（実習室） 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと
54	睡眠の介護 安眠の基本的理解（実習室） 学習課題 復習：テキストⅡp216～248を読む。

	<p>予習：テキストⅡp216～248を読む。</p> <p>55 生活支援技術総括Ⅰ 身じたくの介護における多職種の役割と協働 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと</p> <p>56 生活支援技術総括Ⅱ 食事の介護における多職種の役割と協働 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと</p> <p>57 生活支援技術総括Ⅲ 入浴・清潔保持の介護における多職種の役割と協働 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと</p> <p>58 生活支援技術総括Ⅳ 排泄の介護における多職種の役割と協働 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと</p> <p>59 生活支援技術総括Ⅴ 睡眠の介護における多職種の役割と協働 学習課題 復習：ノートを見直す。 予習：テキストⅡを読んでおくこと</p> <p>60 生活支援技術総括Ⅵ 実習に向けての援助技術の見直し (実習室)</p>
授業形態	演習・講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①領域「こころとからだ」で学んだ知識を応用してアセスメントし、適切な生活支援技術ができる。</p> <p>②居住環境の整備、身じたく、清潔、入浴、排泄、食事、移動などの基礎的な生活支援技術の知識・技術の習得し、援助に応じた福祉用具を活用できる。</p> <p>③利用者のこれまでの暮らしに視点を置き、介護福祉の援助と自立支援に向けたチームケアを理解する。</p> <p>④ICFの概念に基づいてアセスメントを行い、個別性に応じた援助ができる。</p> <p>⑤感染予防、腰痛予防、ボディメカニクスなどのセイフティーマネジメントができる。</p> <p>定期試験、演習レポートの内容、実技項目テストによる評価</p> <p>定期試験（50％）、演習（技術項目テスト）（30％）、小テスト（10％）、授業態度（10％）を総合して評価を行う</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会「最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」、7「生活支援技術Ⅱ」中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	授業の前は、各自で準備体操、整理体操を行ってください。
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、実技演習を実習にて復習すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
木村 貞子 ・ 大河内 友美			
実務教員			

講義概要	『食生活と栄養・調理』に関する幅広い知識を得るための講義と、その理解を深めるための演習を通して、利用者の食生活における支援技術を習得する。 『家庭生活』『被服生活』『住生活』について利用者に対する援助の視点から実習を中心とした学習を行う。		
授業計画	1	食生活の基礎知識 食文化、行事食、食生活の変化 課題学習 予習：教科書P217～218 復習：教科書該当箇所	
	2	栄養素の理解 五大栄養素 働きと欠乏症 課題学習 予習：教科書P218～P222 復習：教科書該当箇所	
	3	食事バランス 献立の立て方、留意点 こ食の問題 課題学習 予習：教科書P223～P224、P292～P296 復習：教科書該当箇所	
	4	高齢者の身体機能と栄養 身体機能に合わせた食事計画 課題学習 予習：教科書P236～P240 復習：教科書該当箇所	
	5	調理の基本 (1) 調理器具の使い方、米の調理、野菜の切り方 課題学習 予習：教科書P232～P234 復習：教科書該当箇所	
	6	調理の基本 (2) 肉・魚の調理、保存、調理法の違いによる食感の違い 課題学習 予習：教科書P234～P235 復習：教科書該当箇所	
	7	調理の基本 (3) 卵の調理、保存、調理法の違いによる食感の違い 課題学習 予習：教科書P235 復習：教科書該当箇所	
	8	調理の基本 (4) だし(うまみ)の利用、汁物、とろみの付け方 課題学習 予習：教科書P236～P239 復習：教科書該当箇所	
	9	調理による高齢者への配慮 (1) 食事提供温度と味付け 課題学習 予習：教科書P238～P240 復習：教科書該当箇所	
	10	調理による高齢者への配慮 (2) 調理形態と食事摂取の支援 課題学習 予習：教科書P244 復習：教科書該当箇所	
	11	調理支援、在宅での食事の準備 (1) 調理上のさまざまな工夫や活用 課題学習 予習：教科書P293～P299 復習：教科書該当箇所	
	12	調理支援、在宅での食事の準備 (2) 配食サービスについて	
	13	高齢者の身体機能と栄養(1) 楽しい食事の演出 課題学習 予習：教科書P241 復習：これまでの講義内容	
	14	高齢者の身体機能と栄養(2) 楽しい食事の演出 課題学習 予習：教科書P241 復習：これまでの講義内容	
	15	家庭生活 日本の家庭生活の変化について	
	16	家庭生活 家庭経済、消費者の保護について	
	17	家庭生活 被覆の機能、繊維の性質、三原組織について	
	18	家庭生活 洗濯、漂白、染み抜き、仕上げ、保管、洗剤について	
	19	裁縫 ミシン糸と針の関係について	
	20	裁縫 地直し、布目方向、布の裁断、玉結び、玉止め	
	21	裁縫 布の裁断、玉結び、玉止め演習	

	2 2	裁縫 ボタン、ホック、ゴムの入れ方、マジックテープの貼り方
	2 3	裁縫 製作（並み縫い、まつり縫い、かがり縫い）
	2 4	裁縫 雑巾製作
	2 5	裁縫 クッション製作
	2 6	裁縫 エプロン製作
	2 7	裁縫 ミシンの糸通し
	2 8	裁縫 ミシンで並縫い
	2 9	住居 快適な室内環境と階段における環境整備
	3 0	住居 住まいの管理と住宅における健康障害
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①栄養に関する基礎知識を習得する。  ②利用者にとっての食事の意義と目的を知り、利用者に適した食事を理解し、支援援助の技能を習得する。  ③家庭の機能について理解する。  ④被服の機能について理解し製作を通して技能を習得する。  ⑤住居の機能を理解する。</p> <p>食生活に関しては定期評価の結果や授業への取り組み方、レポートなどを総合して評価とする。  被服に関しては被服製作品の提出、部分縫いの提出も評価の対象とする。</p>	
科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座 6 『生活支援技術 I』第3版」中央法規出版  参考書：	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	大河内：木曜日・金曜日放課後	
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】調理実習時は、エプロン・三角巾・清潔な手ふきタオルを用意してください。製作進度が順調にいくように材料や道具を忘れないこと。	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	介護過程の概要を知り、利用者のニーズを探究し介護実践での介護過程の意義を理解する。また、紙上の事例展開や実践活動を取り入れ介護過程の展開を知る。		
授業計画	1	介護過程の意味 介護過程の展開と基本視点  学習課題 復習：テキスト p2～9 介護過程とは 予習：テキスト p10～12 介護過程の必要性	
	2	生活支援の考え方と介護過程の必要性① 介護過程と生活支援  学習課題 復習：テキスト p10～12 介護過程と生活支援 予習：テキスト p13 演習	
	3	生活支援の考え方と介護過程の必要性② 具体的な場面での介護過程の展開  学習課題 復習：テキスト p13 演習での様々な考え方 予習：テキスト p16～17 介護過程の全体像	
	4	介護過程の理解 アセスメントの意味  学習課題 復習：テキスト p16～17 介護過程の構成 予習：テキスト p18～28 情報収集	
	5	介護過程の理解 情報収集  学習課題 復習：テキスト p18～28 アセスメント 予習：テキスト p29～31 情報の解釈・関連づけ・統合化	
	6	介護過程の理解 根拠について  学習課題 復習：テキスト p29～31 情報の解釈・関連づけ・統合化 予習：テキスト p32～33 課題の明確化	
	7	介護過程の理解 課題の明確化  学習課題 復習：テキスト p32～33 生活ニーズの抽出 予習：テキスト p34～38 アセスメントの実際	
	8	介護過程の理解 アセスメントの実際  学習課題 復習：テキスト p34～35 アセスメントの実際 予習：テキスト p38～46 演習	
	9	介護過程の理解 アセスメントの実施  学習課題 復習：演習の中から学生自身が見落とした情報を再確認する。 予習：テキスト p48～50 個別援助計画	
	10	介護過程の理解 個別援助計画とケアプラン  学習課題 復習：テキスト p48～50 ケアマネと介護計画、個別援助計画 予習：テキスト p51～57 目標の設定と援助方法	
	11	介護過程の理解 目的・目標の意味と援助  学習課題 復習：テキスト p51～57 具体的な援助内容と目標 予習：テキスト p58 個別援助計画	
	12	介護過程の理解 個別援助計画の演習  学習課題 復習：自分で計画した援助計画を基にグループディスカッションを実施し、情報収集の見直しを図る 予習：テキスト p61～66 実施	
	13	介護過程の理解	

	<p>実施のための観察の視点・準備</p> <p>学習課題 復習：テキスト p 61～66 実施 予習：テキスト p 67～72 状況把握と記録</p> <p>14 介護過程の理解 実施の準備と留意点</p> <p>学習課題 復習：テキスト p 67～72 演習を通して再知識を高める 予習：テキスト p 73～91 評価</p> <p>15 介護過程の理解 評価の意義と実際</p> <p>学習課題 復習：テキスト p 73～91 評価 予習：</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①総論的内容を学習し介護経過の意義を理解することが出来る。 ②介護過程の目的を理解することが出来る。 ③介護過程の内容を理解することが出来る。 ④介護の実践活動の考え方を学習することが出来る。 ⑤介護過程の構成要素について学習することが出来る。</p> <p>授業における課題の取り組み（20%）、定期評価（70%）、授業態度（参考）、小テスト（10%）を総合して評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 10 「介護過程」 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解して下さい。



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	生活支援技術やコミュニケーション技術の活用と共にICFの概念を理解する。		
授業計画	1	<p>アセスメントの実際① アセスメントの理解</p> <p>学習課題 復習：テキスト p92～94 アセスメントの目的と構成 予習：ICFに基づくアセスメントを調べる</p>	
	2	<p>アセスメントの実際② ICFについて学ぶ</p> <p>学習課題 復習：介護過程におけるアセスメント 予習：観察の視点</p>	
	3	<p>情報収集① 情報収集に基づく観察の視点</p> <p>学習課題 復習：情報源と情報収集の手段 予習：事実における観察の視点</p>	
	4	<p>情報収集② 日常生活の情報収集と意識的な判断</p> <p>学習課題 復習：日常の観察の視点 予習：7つの視点に基づく情報収集</p>	
	5	<p>情報判断① 情報判断のための必要な知識と経験による知識</p> <p>学習課題 復習：介護実習を踏まえた必要な知識 予習：判断知識（移動・歩行）</p>	
	6	<p>情報判断② 判断知識（移動・歩行）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（移動・歩行）を分析する。 予習：判断知識（食事・排泄）</p>	
	7	<p>情報判断③ 判断知識（食事・排泄）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（食事・排泄）を分析する。 予習：判断知識（清潔）</p>	
	8	<p>情報判断④ 判断知識（清潔）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（清潔）を分析する。 予習：判断知識（睡眠・環境）</p>	
	9	<p>情報判断⑤ 判断知識（睡眠・環境）</p> <p>学習課題 復習：配布資料から判断知識（睡眠・環境）を分析する。 予習：利用者ニーズ</p>	
	10	<p>情報判断⑥ 利用者ニーズの判断</p> <p>学習課題 復習：利用者ニーズの判断 予習：テキスト 第3章第2節の事例を基にニーズ判断する。</p>	
	11	<p>情報判断⑦ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題をICFを基にして記入する。 予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p>	
	12	<p>情報判断⑧ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題をICFを基にして記入する。 予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p>	
	13	<p>情報判断⑨ 利用者ニーズの判断のための演習</p> <p>学習課題 復習：配布した課題をICFを基にして記入する。</p>	

	<p>予習：配布した課題をアセスメント表に記入する。</p> <p>14 優先順位① 優先順位の検討</p> <p>学習課題 復習：優先順位の意義 予習：優先順位の付け方</p> <p>15 優先順位② 優先順位の検討</p> <p>学習課題 復習：優先順位の意義 予習：優先順位の付け方</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①情報収集の視点を理解することができる。</p> <p>②情報収集の方法を理解することができる。</p> <p>③情報収集したものを基に分析・判断することができる。</p> <p>④生活ニーズを抽出し整理することができる。</p> <p>⑤生活ニーズの優先順位の付け方を整理できる</p> <p>授業における課題の取り組み（20%）、定期評価（70%）、授業態度（参考）、小テスト（10%）を総合して評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 10 介護過程 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	<p>実習体験を通して、目の前の個々の目的・実習に取り組み、その振り返りを次の実習につなげることができる。 他科目の進行状況や内容とも関連付けながら、実習や授業の総まとめとして捉え、基礎力、実践力、応用力を身につける。</p>		
授業計画	1	<p>介護総合演習での学び 介護総合演習と介護実習の関わり 学習課題 予習：p2～13まで読む</p>	
	2	<p>介護総合演習での学び 介護総合演習の位置づけ 介護総合演習の目的 学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキスト p14～30まで読む</p>	
	3	<p>介護実習での学び 介護実習の意義と目的 介護実習の種類 介護実習 I・II のスケジュール配布 学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキスト p36～43まで読む</p>	
	4	<p>介護実習での学び 実習マニュアル作成 実習前後学びの活かし方 学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキスト p46～58まで読む</p>	
	5	<p>介護実習での学び 事前学習の内容と方法 学習課題 復習：実習マニュアルを活用し実習前後の学びを再確認する 予習：テキスト p156～164まで読む</p>	
	6	<p>介護実習 I の展開 介護実習 I のねらい 実習マニュアルで介護実習 I の目標確認 学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：演習5-1 佐世保市と近隣の特性を調べる 高齢者が集まるスポットを調べる</p>	
	7	<p>介護実習 I の展開 演習5-1 学習課題 復習：佐世保市と近隣の特性を知る 予習：演習5-2 (1・2) を調べる</p>	
	8	<p>介護実習 I の展開 演習5-2 実習先も調査する 学習課題 復習：高齢者の生活を知りその状況を把握する 予習：テキスト p74～80、120～127まで読む</p>	
	9	<p>実習先の特徴と学ぶポイント グループホームの特徴 訪問介護の特徴 実習マニュアルの活用 学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める 予習：テキスト142～147まで読む</p>	
	10	<p>実習先の特徴と学ぶポイント 障害者支援施設 ビデオ (母ちゃんになりたい) を見て考える 実習マニュアルの活用 学習課題 復習：課題 ビデオの感想文提出 予習：実習マニュアル記録用紙の確認。テキスト p62～64を読む</p>	
	11	<p>事前学習の内容と方法 実習マニュアル 記録用紙の記入方法 学習課題 復習：記録用紙記入方法再確認 予習：テキスト p59～61まで読む</p>	
	12	<p>介護実習前後の学び 事前訪問前後の方法 演習3-1 個人票最終確認 学習課題 復習：家族を相手に実演 予習：テキスト p169演習5-5</p>	

13	<p>介護実習前後の学び  演習5-5、5-6、5-7  実習用記録用紙配布  介護実習 I での振り返り用紙配布（グループホーム・在宅）  学習課題 復習：コミュニケーションの方法（テキストコミュニケーション技術も参考）  予習：テキスト p 66～71を読む  実習マニュアル介護実習 I（グループホーム・在宅の該当ページを読む）</p>
14	<p>介護実習前後の学び  実習体験の評価と整理の仕方  学習課題 復習：実習後の学びを深める  予習：テキスト p 174～178を読む。生活支援技術（移動、食事、排せつ、着脱衣、入浴）の再確認</p>
15	<p>介護実習 I の展開  介護技術の実践を軸にした介護実習  介護実習 I での振り返り用紙配布（障害者支援施設）  学習課題 復習：生活支援技術の見直し  予習：実習マニュアル介護実習 I（障害者施設の該当ページを読む）</p>
16	<p>事後学習  実習の振り返りと自己評価、グループディスカッションを行う  学習課題 復習：マニュアル実習内容の確認  予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認</p>
17	<p>事後学習  実習の振り返りと自己評価、グループディスカッションを行う  学習課題 復習：マニュアル実習内容の確認  予習：ケースレポートについて理解し、発表会の運営についても理解する。</p>
18	<p>ケースレポート発表会  ケースレポート発表会の聴講</p>
19	<p>ケースレポート発表会  ケースレポート発表会の聴講  学習課題 復習：2年生の抄録などから長期実習での学びを理解する  予習：「ケースレポート発表会に参加して」の感想文を提出</p>
20	<p>介護実習 I・II  再度、介護実習 I・II について理解をする  学習課題 復習：2年生のケースレポート論集を見る  予習：テキスト p 113～119まで読む</p>
21	<p>実習外の施設  養護老人ホームの概要  学習課題 復習：テキスト、ノートで理解を深める  予習：テキスト p 127～134まで読む</p>
22	<p>実習外の施設  小規模多機能型居宅介護  学習課題 復習：テキスト、ノートで理解を深める  予習：テキスト p 135～142まで読む</p>
23	<p>実習外の施設  軽費老人ホーム（ケアハウス）  学習課題 復習：テキスト、ノートで理解を深める  復習：テキスト p 148～154まで読む</p>
24	<p>実習外の施設  医療型障害児入所・療養介護施設  学習課題 復習：テキスト、ノートで理解を深める  予習：テキスト p 105～113まで読む</p>
25	<p>実習先の特徴と学ぶポイント  老人保健施設の理解  通所リハビリテーション  実習マニュアルでの目的、目標確認  実習記録物の配布  学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める  予習：リハビリテーション病院の概要を調べる</p>
26	<p>実習先の特徴と学ぶポイント  介護老人福祉施設  実習マニュアル  個人票確認  学習課題 復習：ノート・テキストで学びを深める  予習：生活支援技術の再確認</p>
27	<p>事前学習  介護老人福祉施設の概要を確認する  学習課題 復習：介護老人福祉施設の概要について  予習：生活支援技術の振り返り</p>
28	<p>事前学習  介護実習 I、II の関連性再確認  生活支援技術の再確認  学習課題 復習：自分のウイークポイントの援助技術見直し  予習：実習マニュアルを活用し実習の目的、目標再確認</p>
29	<p>事後学習  介護実習 I の振り返り  実習の振り返りと自己評価</p>

	<p>学習課題 復習：マニュアル実習内容の確認 予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認</p> <p>30</p> <p>事前学習 介護実習Ⅱの振り返り 実習の振り返りと自己評価 学習課題 復習：実習マニュアルの確認 予習：実習の振り返り、自己評価、記録物の確認</p>
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①介護総合演習Ⅰの意義・目的・目標を理解する ②実習先、その他福祉施設の特徴や役割を知り、学ぶ視点を身につける ③実習前後の学習により、自ら目標や課題を見つけ出し、次の実習に取り組むことができる ④学内で学んだ知識・技術を統合し、根拠に基づいた介護実践を行うことができる ⑤介護実習の経験を通して、自己の介護観を明らかにできる</p> <p>定期試験（70％）、講義、演習に対する取り組み（20％）、振り返りレポート（10％）を総合して評価を行う</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習・介護実習」中央法規出版.</p> <p>テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル.</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業・実習前後で対応します。
備考・メッセージ	授業の到達目標を理解しててください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	6単位	必修
担当教員			
北村 光子・西村 伊知恵			
実務教員			

講義概要	介護現場での実習を通して、利用者ひとりひとりの生活リズムや個性を理解するという視点から、介護とは何かを学ぶ。 利用者、家族との関わりを通じたコミュニケーション、他職種連携、これまで学んだ生活支援技術を実践する基礎的能力を習得する。また、利用者の暮らしや住まいといった環境面を理解しながら、その人らしい生活を維持するための個別ケアの重要性について理解する。
授業計画	<p>介護老人福祉施設 3日間(24時間) 《実習目的》 高齢者・障害者を知る グループホーム実習</p> <p>5日間(40時間) 《実習目的》 認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための日常生活援助の方法を理解する 訪問介護実習</p> <p>2日間(16時間) 《実習目的》 訪問介護の特性や役割を知り、利用者の特性に応じた生活環境に対する生活支援技術の方法を理解する 障害者支援施設実習</p> <p>7日間(56時間) 《実習目的》 障害者施設の特徴や役割を知り、人権の尊重した個別性のある介護の方法を理解する リハビリテーション病院</p> <p>4日間(32時間) 《実習目的》 4日間(32時間) 《実習目的》 リハビリテーション病院の特徴や役割を知り、他職種と連携を図りながら患者様の自立支援に向けたICFの視点での日常生活援助方法を理解する。</p> <p>介護老人保健施設 8日間(64時間) 《実習目的》 1. 介護老人保健施設の特徴と役割を知る 2. 利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、及びチームとしての連携方法を踏まえて、生活支援技術を的確に選択し実践できる。 3. ICFに基づいたアセスメントができる。</p>
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①介護実習の意義目的を理解する ②人権尊重や自立支援を基本に生活ニーズに関する情報を収集し、生活支援に活かすことができる ③実習を通して、実習施設の基本理念、目標を基に利用者の生活・心身の状況に応じた生活支援技術を学ぶ ④介護に関する過程、他職種連携、地域連携を学び、介護の探究する姿勢を身につける ⑤介護職の職業倫理や姿勢・態度を学び、実践力を身につける</p> <p>介護実習評価の他、実習前と実習後の取り組みも評価の対象とする。介護実習の評価は実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。</p> <p>実習前(10%)、実習中(70%)、実習後(20%)</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 中央法規出版。 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習前後で対応します。
備考・メッセージ	短大で習ったものを介護現場で確認すること、介護現場での課題を短大に持ち帰り再学習すること、の繰り返しを行ってください。介護実習の前後の課題を大切に取組んでください。何事にも誠実に取組んでください



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 座間味 愛理			
実務教員			

講義概要	人間の成長・発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化を理解し、老化が生活に及ぼす影響について基礎的な知識を習得する。また、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な知識を習得する。
授業計画	<p>1 科目オリエンテーション・人間の成長と発達の基礎的知識 学習課題 復習：教科書 p 2～9、発達区分を理解し生涯発達をイメージする 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ</p> <p>2 人間の成長と発達の基礎的知識 学習課題 復習：教科書 p 8～21、発達課題と個人差の理解 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ</p> <p>3 人間の発達段階と発達課題 学習課題 復習：教科書 p 24～39、発達理論、各発達理論における発達段階と発達課題 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ</p> <p>4 人間の発達段階と発達課題 学習課題 復習：教科書 p 42～65、発達にともなう特徴的な疾病や障害、心理的・社会的機能の発達 予習：次週範囲・資料の熟読、分からない用語の下調べ</p> <p>5 老年期の特徴と発達課題 学習課題 復習：教科書 p 70～92、老年期の定義、老化とは、老年期の発達課題 予習：教科書 p 93～106、セクシャリティ、老年期をめぐる今日的課題</p> <p>6 老年期の特徴と発達課題 学習課題 復習：教科書 p 93～106、セクシャリティ、老年期をめぐる今日的課題 1～3章まとめ 予習：教科書 p 110～113 加齢による生理機能の全体的低下</p> <p>7 加齢による生理機能の全体的低下 学習課題 復習：教科書 p 110～114 予習：教科書 p 114～117 骨格系・筋系の機能の変化と生活への影響</p> <p>8 骨格系・筋系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 114～117 予習：教科書 p 118～121 脳・神経系の機能の変化と生活への影響</p> <p>9 脳・神経系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 118～121 予習：教科書 p 121～126 感覚器系の機能の変化と生活への影響</p> <p>10 感覚器系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 121～126 予習：教科書 p 126～128 血液系の機能の変化と生活への影響</p> <p>11 血液系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 126～128 予習：教科書 p 128～130 呼吸器系の機能の変化と生活への影響</p> <p>12 呼吸器系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 128～130 予習：教科書 p 130～132 消化器系の機能の変化と生活への影響</p> <p>13 消化器系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 130～132 予習：教科書 p 133～135 腎・泌尿器系及び生殖器系の機能の変化と生活への影響</p> <p>14 腎・泌尿器系及び生殖器系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 133～135 予習：教科書 p 135～139 内分泌・代謝系及び免疫系の機能の変化と生活への影響</p> <p>15 内分泌・代謝系及び免疫系の機能の変化と生活への影響 学習課題 復習：教科書 p 135～139</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間の成長と発達の概要について説明できる ②ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題について説明できる ③老化による心理的变化および身体的機能の変化の特徴について理解し、理解した内容を説明できる ④高齢者の身体機能の変化は個別であることを関連づけて考えることができる ⑤老化に伴う身体機能の変化が日常生活へ与える影響について説明できる</p> <p>定期試験（80%）、グループワークによる演習及びレポート内容（10%）授業への参加（10%）で評価する。</p>



科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 1 2 『発達と老化の理解』中央法規出版.
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症の人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響を理解し、個々にあった的確なケアができるための知識を習得する。
授業計画	<p>1 認知症を取り巻く状況 認知症を取り巻く状況、これまで一今一これから 学習課題 復習：教科書 p 100-109 予習：教科書 p 2-11 認知症とはなにか</p> <p>2 認知症とは何か 認知症の定義と診断基準、認知症初期に生じる生活の支障（生活障害） 学習課題 復習：教科書 p 2-11 予習：教科書 p 2-11</p> <p>3 認知症とは何か 認知症の症状の全体像、認知症の特徴 学習課題 復習：教科書 p 2-11 予習：教科書 p 12-24</p> <p>4 脳のしくみ 脳の構造・機能、認知症の病理等 学習課題 復習：教科書 p 12-24 予習：教科書 p 12-24</p> <p>5 脳のしくみ アルツハイマー型認知症について、脳の構造と症状との関係など 学習課題 復習：教科書 p 12-24 予習：教科書 p 12-24</p> <p>6 脳のしくみ うつの理解、老化と認知症の関係 学習課題 復習：教科書 p 12-24 予習：教科書 p 25-29</p> <p>7 認知症の人の心理 不安・喪失感、不安・うつと機能低下、不安・うつの病態等 学習課題 復習：教科書 p 25-29 予習：教科書 p 32-39</p> <p>8 中核症状の理解 中核症状、記憶障害、見当識障害、遂行機能障害、空間認知障害、視覚認知障害など 学習課題 復習：教科書 p 32-39 予習：教科書 p 32-39</p> <p>9 中核症状の理解 中核症状、記憶障害、見当識障害、遂行機能障害、空間認知障害、視覚認知障害など 学習課題 復習：教科書 p 32-39 予習：教科書 p 40-46</p> <p>10 生活障害の理解 生活障害、IADL障害、ADL障害など 学習課題 復習：教科書 p 40-46 予習：教科書 p 47-61</p> <p>11 BPSDの理解 BPSDの定義、原因、要因など 学習課題 復習：教科書 p 47-61 予習：教科書 p 62-71</p> <p>12 認知症の診断と重症度 診断、認知症の重症度の判定 学習課題 復習：教科書 p 62-71 予習：教科書 p 72-86</p> <p>13 認知症の原因疾患と症状・生活障害 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症など 学習課題 復習：教科書 p 72-86 予習：教科書 p 87-92</p> <p>14 認知症の治療薬 認知症の治療薬について 学習課題 復習：教科書 p 87-92 予習：教科書 p 93-97</p> <p>15 認知症の予防 予防の考え方、認知症のリスクを下げる要因など 学習課題 復習：教科書 p 93-97</p>
授業形態	講義

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①認知症の人がおかれてきた歴史を理解する ②認知症の人がおかれている現状について理解する ③老化のしくみと認知症の人の脳の状態を理解する ④認知症の人に対する医学的理解を深める ⑤認知症の人に対する心理的理解を深める
科目（教職課程用）	授業態度（授業内の質問に答えられるか、ワークに積極的に参加しているかetc）と定期試験を総合的に判断する。
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	授業での発表・授業への参加（20%）課題レポートの提出（10%）定期試験（70%）
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 13 『認知症の理解』 中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	認知症に関する新聞記事やテレビ番組などに関心を持ち、授業内容と関連づけができるようにしてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 白似田 健悟			
実務教員			

講義概要	精神、知的・発達障害、難病などの症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解した上で、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。また、障害のある人の特性をふまえたアセスメントと自立に向けた支援を行うために必要な、地域におけるサポート体制や多職種協働のあり方、家族への支援についても学習する。
授業計画	<p>1 障害の概念 障害の概念、障害のとらえ方、ICIDHからICFへの変遷、障害者の概数、障害者の定義 学習課題 復習：教科書 p 2-12 予習：教科書 p 13-25 障害者福祉の基本理念</p> <p>2 障害者福祉の基本理念 ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン、エンパワメント、アドボカシー等 学習課題 復習：教科書 p 13-25 予習：教科書 p 27-36 障害者福祉に関連する制度</p> <p>3 障害者福祉に関連する制度 障害者総合支援法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法、障害者の就労支援、成年後見制度 学習課題 復習：教科書 p 27-36 予習：教科書 p 37-44 障害者福祉制度と介護保険制度</p> <p>4 障害者福祉制度と介護保険制度 学習課題 復習：教科書 p 37-44 予習：教科書 p 46-52 障害のある人の心理</p> <p>5 障害のある人の心理 学習課題 復習：教科書 p 46-52 予習：教科書 p 54-65 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活</p> <p>6 肢体不自由（運動機能障害） 学習課題 復習：教科書 p 54-65 予習：教科書 p 66-73 視覚障害のある人の生活</p> <p>7 視覚障害 学習課題 復習：教科書 p 66-73 予習：教科書 p 74-84 聴覚・言語障害</p> <p>8 聴覚・言語障害 学習課題 復習：教科書 p 74-84 予習：教科書 p 85-91 重複障害</p> <p>9 重複障害 学習課題 復習：教科書 p 85-91 予習：教科書 p 94-155 内部障害（心臓機能障害）重症心身障害、</p> <p>10 内部障害、重症心身障害 学習課題 復習：教科書 p 94-155 予習：教科書 p 160-171 知的障害</p> <p>11 知的障害 学習課題 復習：教科書 p 160-171 予習：教科書 p 172-183 精神障害</p> <p>12 精神障害 学習課題 復習：教科書 p 172-183 予習：教科書 p 184-196 高次脳機能障害</p> <p>13 高次脳機能障害 学習課題 復習：教科書 p 184-196 予習：教科書 p 197-209 発達障害</p> <p>14 発達障害 学習課題 復習：教科書 p 197-209 予習：教科書 p 210-221</p> <p>15 難病 学習課題 復習：教科書 p 210-221</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①ICFの概念を理解し、「その人らしい生活」の実現を視野に入れたアセスメントとは何かを説明できる。 ②障害の知識及び具体的な症状とその背景や原因を知り、自立に向けてどのような介護が必要となるのかについて自分の考えを述べるができる。 ④障害者の日常生活における影響を考慮し、残存能力・潜在能力の活用などを含め、生活支援技術との関連づけができる。 ⑤障害の種類や特性に応じた介護上の留意点を踏まえ、医療職との連携の必要性について説明できる。</p> <p>定期試験（80%）、グループディスカッション・授業での発表（10%）、授業への参加（10%）で評価する</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 1 4 『障害の理解』 中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員			

講義概要	健康とは何かを理解し、からだと密接なつながりをもつこころのしくみについて基礎的な知識を理解する。また、援助者として求められる対応について学ぶ。		
授業計画	1	健康とは何か 健康の定義 学習課題 復習：教科書 P 2-4 予習：教科書 P 4-5	
	2	健康とは何か 「健康」づくり 学習課題 復習：教科書 P 4-5 予習：教科書 P 5-11	
	3	健康とは何か 健康観、人はなぜ病気になるのか 学習課題 復習：教科書 P 5-11 予習：教科書 P 14-15	
	4	人間の欲求とは 基本的欲求 学習課題 復習：教科書 P 14-15 予習：教科書 P 16-18	
	5	人間の欲求とは 社会的欲求、自己実現とは 学習課題 復習：教科書 P 16-18 予習：教科書 P 19-21	
	6	自己実現と尊厳 自己概念に影響する要因、自立への意欲と自己概念 学習課題 復習：教科書 P 19-21 予習：教科書 P 21-23	
	7	自己実現と尊厳 自己実現と尊厳、生きがい、国際的なとりくみ 学習課題 復習：教科書 P 21-23 予習：教科書 P 24	
	8	こころのしくみの基礎～こころとは何か こころとは何か、作文『こうじ おはなししようね』 学習課題 復習：教科書 P 24 予習：教科書 P 25-27	
	9	こころのしくみの基礎～脳のしくみ 脳をつくる細胞、細胞の集団がつくる機能 学習課題 復習：教科書 P 25-27 予習：教科書 P 28	
	10	こころのしくみの基礎～認知のしくみ 認知とは何か、認知のしくみ 学習課題 復習：教科書 P 28 予習：教科書 P 28-32	
	11	こころのしくみの基礎～学習・記憶・思考のしくみ 学習とは何か、記憶とは何か、思考とは何か 学習課題 復習：教科書 P 28-32 予習：教科書 p 28-32	
	12	こころのしくみの基礎～学習・記憶・思考のしくみ 学習とは何か、記憶とは何か、思考とは何か 学習課題 復習：教科書 P 28-32 予習：教科書 P 32-33	
	13	こころのしくみの基礎～感情のしくみ 感情とは何か、感情のしくみ 学習課題 復習：教科書 P 32-33 予習：教科書 P 33-34	
	14	こころのしくみの基礎～意欲・動機付けのしくみ 意欲・動機付けのしくみ 学習課題 復習：教科書 P 33-34 復習：教科書 P 35-37	
	15	こころのしくみの基礎～適応のしくみ 適応のしくみ、ストレスとフラストレーション、人格 学習課題 復習：教科書 P 35-37	
授業形態	講義・演習		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①健康とは何かについて理解できる。          ②こころとからだの相互作用について理解できる。          ③脳機能と関連する障がいについて理解できる。          ④認知機能の基本を理解できる。          ⑤こころの構造について理解できる。          ⑥こころとからだの関係を理解し、援助者として必要な対応を考えることができる。</p> <p>授業への参加（10%）、グループディスカッションと発表（10%）、課題レポート（10%）、定期試験（70%）で評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：適時資料を配布する。          参考書：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座11 『こころとからだのしくみ』中央法規出版、『第1章こころのしくみを理解する』。</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員			

講義概要	人間のからだのしくみを学び、人体の健康状態を医学的な観点から理解する。その上で利用者の健康状態を判断する基準や利用者の生活の困難さを測る基準となる知識を学ぶ。		
授業計画	1	からだの部位の役割 細胞・遺伝・各部の名称 学習課題 復習：教科書 p 40-42 予習：教科書 p 43-46	脳・神経の理解
	2	からだの部位の役割 (脳・神経の理解) 脳・神経の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 43-46 予習：教科書 p 43-46	脳・神経の理解 脳・神経の理解
	3	からだの部位の役割 (脳・神経の理解) 脳・神経の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 43-46 予習：教科書 p 46-49	脳・神経の理解 感覚器の理解
	4	からだの部位の役割 (感覚器の理解) 感覚器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 46-49 予習：教科書 p 49-52	感覚器の理解 呼吸器の理解
	5	からだの部位の役割 (呼吸器の理解) 呼吸器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 49-52 予習：教科書 p 49-52	呼吸器の理解 呼吸器の理解
	6	からだの部位の役割 (呼吸器の理解) 呼吸器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 49-52 予習：教科書 p 53-55	呼吸器の理解 循環器の理解
	7	からだの部位の役割 (循環器の理解) 循環器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 53-55 予習：教科書 p 53-55	循環器の理解 循環器の理解
	8	からだの部位の役割 (循環器の理解) 循環器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 53-55 予習：教科書 p 55-57	循環器の理解 消化器の理解
	9	からだの部位の役割 (消化器の理解) 消化器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 55-57 予習：教科書 p 55-57	消化器の理解 消化器の理解
	10	からだの部位の役割 (消化器の理解) 消化器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 55-57 予習：教科書 p 58-59	消化器の理解 泌尿器の理解
	11	からだの部位の役割 (泌尿器の理解) 泌尿器の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 58-59 予習：教科書 p 60-69	泌尿器の理解 骨・筋肉の理解
	12	からだの部位の役割 (骨・筋肉の理解) 骨・筋肉の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 60-69 予習：教科書 p 60-69	骨・筋肉の理解 骨・筋肉の理解
	13	からだの部位の役割 (骨・筋肉の理解) 骨・筋肉の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 60-69 予習：教科書 p 69-77	骨・筋肉の理解 生殖器・内分泌の理解
	14	からだの部位の役割 (生殖器・内分泌の理解) 生殖器・内分泌の構造、機能の理解 学習課題 復習：教科書 p 69-77 予習：教科書 p 77-82	生殖器・内分泌の理解 介護福祉職に必要な薬の知識
	15	介護福祉職に必要な薬の知識 学習課題 復習：教科書 p 77-82	介護福祉職に必要な薬の知識
授業形態	講義		



評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①生活支援のために必要とされる、基本的な人体構造や機能について説明できる</p> <p>②利用者の日常生活の変調を観察する視点を説明できる</p> <p>③日常生活に生じる変調に対して、医学的根拠を踏まえ生活支援技術を工夫することの意義を説明できる</p> <p>④外界からの刺激から整え調和させることの必要性について理解することができる</p> <p>⑤利用者が望む生活環境で「活動」「参加」の継続が得られる生活支援技術を提供することの意義を説明できる</p> <p>定期試験(80%)、課題レポート(10%)、授業への参加(10%)で評価する</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座11『こころとからだのしくみ』中央法規出版</p> <p>第2章からだのしくみを理解する</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
白似田 健悟			
実務教員			

講義概要	<p>①「コミュニケーションA」で学習したコミュニケーションの基礎を応用する力を身につける。          ②障がいの程度や種別、生活状況に応じたコミュニケーションを学び、実践する。          ③日常生活の中で利用者の心のゆとりが得られるアクティビティを提供する技術の習得を目指す。          ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を自ら考える力を身につける。          ⑤対象者とその家族、関連職種とのコミュニケーション力を身につける。</p>
授業計画	<p>1 コミュニケーションとは ・「コミュニケーション」とは何か、を正しく理解し、説明することができる</p> <p>2 コミュニケーション障害の理解Ⅰ ・テキストp136～147.</p> <p>3 コミュニケーション障害の理解Ⅱ ・テキストp148～160.</p> <p>4 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅠ ・テキストp161～197. 配布資料. 音楽療法的レクリエーション</p> <p>5 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅡ ・テキストp161～197. 配布資料. 音楽療法的レクリエーション</p> <p>6 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅢ ・テキストp161～197. 配布資料. 音楽療法的レクリエーション</p> <p>7 介護におけるチームのコミュニケーションⅠ テキストp200～208. 配布資料. 価値・協力・集団</p> <p>8 描画療法と対人援助Ⅰ ・</p> <p>9 描画療法と対人援助Ⅱ ・</p> <p>10 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅣ ・テキストp161～197. 配布資料. 回想法的レクリエーション</p> <p>11 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅤ ・テキストp161～197. 配布資料. 回想法的レクリエーション</p> <p>12 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーションⅥ テキストp161～197. 配布資料. 回想法的レクリエーション</p> <p>13 介護におけるチームのコミュニケーションⅡ ・テキストp209～241 記録</p> <p>14 介護におけるチームのコミュニケーションⅢ ・テキストp242～257. 報告・連絡・相談・会議</p> <p>15 介護におけるチームのコミュニケーションⅣ ・テキストp242～257. 報告・連絡・相談・会議</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①コミュニケーション対象者の特徴を理解する。          ②コミュニケーション障害とは何か、を理解する。          ③障害の程度や種別より適切にアセスメントを行い、実践し、評価する力を身につける。          ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を考え、提供する力を身につける。          ⑤障がいのある方、その家族、関連職種とのコミュニケーション方法を理解する。</p> <p>定期考査、授業または演習態度やレポートの提出。  <b>【授業・演習態度（30％）、レポート・振り返りシート（10％）、定期試験（60％）】</b></p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> マナー、主体性（10％）  <b>【思考・判断】</b> 他者との協力（10％）  <b>【技能・表現】</b> 応用、課題解決（10％） レポート（10％）  <b>【知識・理解】</b> 定期試験（60％）</p>
科目（教職課程用）	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座5『コミュニケーション技術』第3版中央法規出版. その他：適時配布.
履修条件	
履修上の注意	この科目は、レクリエーションインストラクター養成課程の関連科目です
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。
備考・メッセージ	演習においては、課題に対する自発的、積極的な取り組みが前提となります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期～前期	1～2年	2単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	学内の授業や介護実習を通して学んだ知識や技術を統合するための事例演習に取り組み介護過程の展開を実践できる		
授業計画	1	介護計画の立案 介護計画（個別援助計画）  学習課題 復習：アセスメントの見直し。 予習：テキスト p 52～64まで読む。	
	2	介護計画の立案 具体的な支援内容・方法の決定と演習2-2  学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキスト p 52～64まで読む。	
	3	介護計画の立案 具体的な支援内容・方法の決定と演習2-2  学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：配布プリントの事例を読む。	
	4	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	5	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	6	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	7	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	8	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	9	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	10	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	11	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	12	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる  学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする	
	13	介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる	

14	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする 介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる</p>
15	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする 介護計画の立案 事例からアセスメント1に基づき優先順位を決定できる</p>
16	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：テキストp66～71まで読む。 実施 実施のための準備と留意点</p>
17	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキストp72～76まで読む。演習2-3をする。 実施 実施状況の把握と記録</p>
18	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキストp78～85まで読む。 評価 評価の意義と目的</p>
19	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキストp86～94まで読む。 評価 評価の方法</p>
20	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：テキストp86～94まで読む。演習2-4をする。 評価 評価の方法</p>
21	<p>学習課題 復習：テキストp78～94まで読む 予習：テキストp98～108まで読む。 介護過程とケアマネジメントの関係性 ケアマネジメントの全体像</p>
22	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：演習3-1、3-2をする。 介護過程とケアマネジメントの関係性 ケアマネジメントの全体像…演習3-1、3-2</p>
23	<p>学習課題 復習：テキストp98～108まで読む。 予習：テキストp111～119まで読む。 チームアプローチにおける介護福祉士の役割 チームアプローチの意義と実際</p>
24	<p>学習課題 復習：ノートの見直し。 予習：演習3-3をする。 チームアプローチにおける介護福祉士の役割 チームアプローチの意義と実際…演習3-3</p>
25	<p>学習課題 復習：テキストp111～119まで読む。 予習：テキストp122～124まで読む。 介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p>
26	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。 介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p>
27	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。 介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p>
28	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。 介護過程の実践的展開 事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p>
29	<p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。 介護過程の実践的展開</p>

	<p>事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p> <p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。</p> <p>介護過程の実践的展開</p> <p>事例からアセスメントに基づき介護計画（個別援助計画）を立案する。</p> <p>学習課題 復習：資料の事例を基に優先順位の再学習をする。 予習：配布した課題に基づきアセスメント1・2、個別援助計画の作成をする。</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①個別援助計画とケアプランの関係を理解する。 ②個別援助計画の要素を理解する。 ③事例演習から、個別の生活課題や潜在能力の見極めの方法をアセスメントし理解する。 ④自立支援に沿った個別援助計画の立案・実施・評価・他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。⑤利用者の権利擁護や「こころとからだのしくみ」「社会の理解」「介護」の分野から学んだことが介護過程にどのような影響があるのかを学ぶ。</p> <p>授業における課題の取り組み（10%）、定期評価（70%）、授業態度（参考）、小テスト（20%）</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 10 「介護過程」 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵			
1年次	介護福祉専攻	週2時間	実務教員

講義概要	老化に伴う心身の変化や高齢者をとりまく周囲の環境、日常生活に及ぼす影響等について高齢者の気持ちを深く理解する。さらに、高齢者に多い疾病や老化に伴う機能低下が及ぼす影響、健康の維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を理解する。
授業計画	<p>1 高齢者と健康 健康長寿に向けての健康 学習課題 復習：教科書 p 188-190 予習：教科書 p 196-201</p> <p>2 高齢者の症状・疾患の特徴 高齢者の症状・疾患の特徴、高齢者に特有な症状 学習課題 復習：教科書 p 196-201 予習：教科書 p 196-201</p> <p>3 高齢者の症状・疾患の特徴 高齢者の症状・疾患の特徴、高齢者に特有な症状 学習課題 復習：教科書 p 196-201 予習：教科書 p 202-208</p> <p>4 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 骨粗しょう症、高齢者に多い骨折 学習課題 復習：教科書 p 202-208 予習：教科書 p 208-217</p> <p>5 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 変形性膝関節症、関節リウマチ、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症 学習課題 復習：教科書 p 208-216 予習：教科書 p 216-223</p> <p>6 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 脳・神経系 学習課題 復習：教科書 p 216-223 予習：教科書 p 223-235</p> <p>7 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 皮膚・感覚器系、循環器系 学習課題 復習：教科書 p 223-235 予習：教科書 p 236-246</p> <p>8 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 呼吸器系、消化器系 学習課題 復習：教科書 p 236-246 予習：教科書 p 236-246</p> <p>9 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 呼吸器系、消化器系 学習課題 復習：教科書 p 236-246 予習：教科書 p 246-258</p> <p>10 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 腎・泌尿器系、内分泌・代謝系 学習課題 復習：教科書 p 246-258 予習：教科書 p 246-258</p> <p>11 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 腎・泌尿器系、内分泌・代謝系 学習課題 復習：教科書 p 246-258 予習：教科書 p 259-266</p> <p>12 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 歯・口腔疾患、悪性新生物 学習課題 復習：教科書 p 259-266 予習：教科書 p 271-281</p> <p>13 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 感染症、精神疾患 学習課題 復習：教科書 p 271-281 予習：教科書 p 281-289</p> <p>14 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 その他（熱中症、脱水症、貧血） 学習課題 復習：教科書 p 281-289 予習：教科書 p 294-299</p> <p>15 保健医療職との連携 保健医療職との連携のありかた等 学習課題 復習：教科書 p 294-299</p>

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①人間の基本的な発達について理解し、説明できる。  ②老化という身体的・社会的変化が高齢者の心理に与える影響について考え、自分の考えを述べることができる。  ③老化のプロセスにおいて、人がその人らしく生きるために必要な支援について考え、自分の考えを述べることができる。  ④高齢者のかかりやすい疾病について理解し、生活上の留意点について説明できる。  ⑤医療職との連携の必要性について説明できる。</p> <p>筆記試験（80%）、グループワークへの参加（10%）レポート内容（10%）などで総合的に評価する。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座12『発達と老化の理解』中央法規出版。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	



英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施設、認知症者の現状を把握し、認知症の主症状が要因となっておこる機能変化や日常生活への影響について理解する。また、利用者の尊厳を守ってケアを提供することのできる知識及び家族へのサポート体制について理解する。
授業計画	<p>1 認知症の人の理解 認知症を取り巻く状況、認知症ケアの理念と視点 学習課題 復習：教科書 p100-110 予習：教科書 p110-122</p> <p>2 認知症ケアの理念と視点 認知症ケアの理念、倫理について等 学習課題 復習：教科書 p110-122 予習：教科書 p123-138</p> <p>3 認知症当事者の視点からみえるもの 認知症当事者の視点からみえるもの 学習課題 復習：教科書 p123-138 予習：教科書 p140-148</p> <p>4 認知症ケアの実際① パーソン・センタード・ケア 学習課題 復習：教科書 p140-148 予習：教科書 p149-180</p> <p>5 認知症ケアの実際② 認知症の人の理解と認知症の人の特性をふまえたアセスメント・ツール 学習課題 復習：教科書 p149-180 予習：教科書 p181-195</p> <p>6 認知症ケアの実際③ 認知症の人とのコミュニケーション、認知症の人へのケア（食事のケア） 学習課題 復習：教科書 p181-195 予習：教科書 p195-215</p> <p>7 認知症ケアの実際④ 認知症ケアの実際（排泄のケア、入浴のケア、清潔保持のケア、休息と睡眠のケア、活動・生きがいのケア） 学習課題 復習：教科書 p195-215 予習：教科書 p217-224</p> <p>8 認知症の人へのさまざまなアプローチ① ユマニチュード、バリデーション 学習課題 復習：教科書 p217-224 予習：教科書 p224-235</p> <p>9 認知症の人へのさまざまなアプローチ② 認知症ケア・マッピング、回想法、聞き書き 学習課題 復習：教科書 p224-235 予習：教科書 p237-244</p> <p>10 認知症の人の終末期医療と介護 認知症の人の終末期医療と介護 学習課題 復習：教科書 p237-244 予習：教科書 p245-256</p> <p>11 環境づくり 環境づくり 学習課題 復習：教科書 p245-256 予習：教科書 p258-276</p> <p>12 介護者支援① 家族への支援 学習課題 復習：教科書 p258-276 予習：教科書 p277-291</p> <p>13 介護者支援② 介護職への支援 学習課題 復習：教科書 p277-291 予習：教科書 p294-303</p> <p>14 認知症の人の地域生活支援① 制度、サービス、機関、地域づくり、若年性認知症の人への支援 学習課題 復習：教科書 p294-303 予習：教科書 p303-323</p> <p>15 認知症の人の地域生活支援② 多職種連携と協働 学習課題 復習：教科書 p303-323</p>

授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①認知症の症状を理解し、そうした症状がもたらす心理的影響について説明できる。</p> <p>②認知症高齢者の心理を理解し、説明できる。</p> <p>③認知症症状を示す人への対応や関わり方を、理論に基づき考察できる。</p> <p>④認知症の方の家族の方との協力体制や、地域サポート体制について学び、援助方法を説明できる。</p> <p>⑤認知症の方の社会環境や生活環境について考察することができる。</p> <p>⑥認知症の方の尊厳を支え守ることについて考え、説明できる。</p> <p>定期試験（70%）、授業への取り組み（20%）、小テスト・レポート（10%）で評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	・テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 13 『認知症の理解』 中央法規出版. その他、配布資料.
履修条件	
履修上の注意	「認知症の理解A」をふまえて受講すること。
オフィスアワー	授業前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業の範囲を予習し、事例に基づいて考えておくこと。「もし自分自身が認知症になってしまったら、どうして欲しいか？」を考えて課題に臨むこと。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
西村 伊知恵			
実務教員			

講義概要	<p>①障害の種別ごとの医学的、心理的側面をふまえた生活について理解する          ②障害の知識及び具体的な症状とその背景や原因を知り、自立に向けた介護の重要性がわかる          ③医療職との連携のあり方について理解する          ④障害のある人に対する介護の基本的視点及び家族への支援について理解する。          ⑤地域におけるサポート体制の確立のための連携と協働の重要性について理解する。</p>
授業計画	<p>1 内部障害のある人の生活          心臓機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 156-162          予習： p 156-162</p> <p>2 内部障害のある人の生活          心臓機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 156-162          予習： p 162-170</p> <p>3 内部障害のある人の生活          腎臓機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 162-170          予習： p 171-177</p> <p>4 内部障害のある人の生活          呼吸機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 171-177          予習： p 177-186</p> <p>5 内部障害のある人の生活          膀胱・直腸機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 177-186          予習： p 186-192</p> <p>6 内部障害のある人の生活          ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 186-192          予習： p 193-198</p> <p>7 内部障害のある人の生活          肝臓機能障害のある人の生活          医学的理解、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点          学習課題 復習：教科書 p 193-198          予習： p 202-212</p> <p>8 難病のある人の生活          難病とは何か、疾患の特徴、進行段階期による支援の課題、心理的状況とその援助          医療との連携          生活障害          介護上の留意点</p> <p>9 障害のある人に対する介護          障害のある人に対する介護上の基本的視点          自己決定、エンパワメント、権利擁護</p> <p>10 障害のある人に対する介護          基本的視点に基づいた個別支援</p> <p>11 障害のある人に対する介護          社会資源の利用と開発</p> <p>12 家族への支援          家族への支援とは何か          家族支援の視点、障害の受容、レスパイトサービス他</p> <p>13 家族への支援          家族の状態の把握と介護負担の軽減</p> <p>14 連携と協働          保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携（チームアプローチ）</p> <p>15 地域におけるサポート体制          行政、関係機関、「協議会」との連携          インフォーマル支援ネットワーク</p>

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①医学的側面からの基本的知識として身体障害などについて理解できる          ②障害の症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解できる          ③障害の日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を行う根拠となる知識を習得する          ④社会資源の利用と活用について理解できる          ⑤医療職との連携が理解できる          ⑥地域におけるサポート体制の確立のための連携と協働の重要性について理解できる。</p> <p>授業態度（20%）、演習の参加度・レポート（10%）、定期試験（70%）で総合的に評価する。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 14 『障害の理解』 中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	介護の実践の際、根拠となるものをすぐに思い出せるように学習しましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
1年次	介護福祉専攻	週2時間	実務教員

講義概要	こころとからだは相互に影響しあい、意欲や行動などに影響を及ぼすことを理解し、身体機能の低下や障害により移動や身じたく、入浴や食事、排泄などの生活行動がどのような影響を受けるのかを学ぶ。また、具体的な援助のための根拠となる知識を習得する
授業計画	<p>1 移動に関連したこころとからだのしくみ 移動のしくみ 学習課題 復習：教科書 p 84-99 移動のしくみ 予習：教科書 p 100-105 心身の機能低下が移動に及ぼす影響</p> <p>2 移動に関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が移動に及ぼす影響 学習課題 復習：教科書 p 100-105 心身の機能低下が移動に及ぼす影響 予習：教科書 p 106-110 変化の気づきと対応</p> <p>3 移動に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応 学習課題 復習：教科書 p 106-110 変化の気づきと対応 予習：教科書 p 111-130 身じたくに関連したこころとからだのしくみ</p> <p>4 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 学習課題 復習：教科書 p 112-130 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 予習：教科書 p 131-136 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響</p> <p>5 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 学習課題 復習：教科書 p 131-136 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 予習：教科書 p 137-145 変化の気づきと対応</p> <p>6 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応 学習課題 復習：教科書 p 137-145 変化の気づきと対応 予習：教科書 p 148-155 食事のしくみ</p> <p>7 食事に関連したこころとからだのしくみ 食事のしくみ 学習課題 復習：教科書 p 148-155 食事のしくみ 予習：教科書 p 156-162 心身の機能低下が食事に及ぼす影響</p> <p>8 食事に関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響 学習課題 復習：教科書 p 156-162 心身の機能低下が食事に及ぼす影響 予習：教科書 p 163-170 変化の気づきと対応</p> <p>9 食事に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応 学習課題 復習：教科書 p 163-170 変化の気づきと対応 予習：教科書 p 172-183 入浴・清潔保持のしくみ</p> <p>10 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 入浴・清潔保持のしくみ 学習課題 復習：教科書 p 172-183 入浴・清潔保持のしくみ 予習：教科書 p 184-194 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響</p> <p>11 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 学習課題 復習：教科書 p 184-194 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響 予習：教科書 p 195-206 変化の気づきと対応</p> <p>12 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応 学習課題 復習：教科書 p 195-206 変化の気づきと対応 予習：教科書 p 208-220 排泄のしくみ</p> <p>13 排泄に関連したこころとからだのしくみ 排泄のしくみ 学習課題 復習：教科書 p 208-220 排泄のしくみ 予習：教科書 p 221-231 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響</p> <p>14 排泄に関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 学習課題 復習：教科書 p 221-231 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響 予習：教科書 p 232-238 変化の気づきと対応</p> <p>15 排泄に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応 学習課題 復習：教科書 p 232-238 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響、変化の気づきと対応</p>

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①移動と身じたく関連への影響について理解し、説明できる。  ②清潔保持の基礎的知識を理解し、説明できる  ③身体機能の低下、障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響について理解し、説明できる  ④入浴の実際・入浴での事故について理解し、防止策について説明できる  ⑤食事、排泄に関する基礎的知識について理解し、介助の注意点について説明できる  ⑥身体の機能低下、障害が及ぼす食事、排泄への影響について理解し、説明できる</p> <p>期試験（８０％）、演習及びレポート（２０％）で総合的に評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 1 1 『こころとからだのしくみ』中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：介護実習Ⅱ（1年）

授業コード：90142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	5単位	必修
担当教員			
北村 光子・西村 伊知恵			
実務教員			

講義概要	介護実習Ⅰで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する
授業計画	介護老人福祉施設実習 7日間（56時間） 《実習目的》 1. 介護老人福祉施設の特徴や役割を知る 2. 利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する 3. ICFに基づいたアセスメントができる
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があったか評価する力を身につける  介護実習の評価は、実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。  実習前（10%）、実習中（80%）、実習後（10%）
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新 介護福祉士養成講座 10 「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	実習前後いつでも対応します。
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	講義
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援制度の創設された背景、目的、仕組み、専門職・組織の役割について基本的な理解を深める。		
授業計画	1	社会保障制度の基本的な考え方 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：福祉六法について調べておくこと。	
	2	社会保障制度の発達(1) 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト 社会保障構造改革についての部分を読んでおくこと。	
	3	社会保障制度の発達(2) 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会保険について調べておくこと。	
	4	社会保険の仕組み 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：社会扶助について調べておくこと。	
	5	社会扶助の仕組み 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：テキスト これからの社会保障制度についての部分を読んでおくこと。	
	6	現代社会における社会保障制度 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度の目的について調べておくこと。	
	7	介護保険制度の目的 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度の2012年の改正について調べておくこと。	
	8	介護保険制度の動向 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険の給付について調べておくこと。	
	9	介護保険の給付と認定 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：地域包括支援センターの業務について調べておくこと。	
	10	地域支援事業と地域包括支援センター 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護保険制度における市町村の役割について調べておくこと。	
	11	介護保険制度における組織、団体の機能と役割 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：介護支援専門員の役割について調べておくこと。	
	12	介護保険制度における専門職の役割 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：障害者総合支援法について調べておくこと。	
	13	障害者総合支援法の策定とその特徴 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：生涯福祉サービスの種類について調べておくこと。	
	14	障害福祉サービスの種類と利用 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：障害者自立支援制度における組織・団体の役割について調べておくこと。	
	15	障害者自立支援制度における組織・団体の役割 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。	
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①社会保障制度が創設された背景と目的について理解を深める。 ②社会保障制度の仕組みについて理解を深める。 ③介護保険制度が創設された背景と目的について理解を深める。 ④介護保険制度の仕組み、専門職・組織の役割について理解を深める。 ⑤障害者支援制度の目的、仕組み、専門職・組織の役割について理解を深める。  授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。		
科目(教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	『最新介護福祉全書 第2巻 社会の理解』メヂカルフレンド社。		



履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年生	4単位	必修
担当教員			
北村 光子・川原 ゆかり			
実務教員			

講義概要	<p>①利用者が安心して生きがいのある生活が営める生活環境について考える。          ②領域「社会の理解」と「こころとからだのしくみ」で学んだ知識と介護の専門性を統合する。          ③人間・社会・生活、に焦点をあてて介護の専門性を理解し、連携方法を考える。          ④課題解決のための提案をすることができる。          ⑤利用者の生活障害に対する介護福祉士の社会的役割を自ら考える。</p>		
授業計画	1	介護に携わる人の健康管理（北村） 健康管理の意義と目的 テキストⅡ p230	
	2	介護に携わる人の健康管理（北村） バーンアウト症候群の理解とその予防 テキストⅡp240	
	3	介護に携わる人の健康管理（北村） 介護の労働環境 テキストⅡp249 テキストⅠ p18	
	4	介護に携わる人の健康管理（北村） 介護の労働環境 新聞・雑誌からの最新情報収集	
	5	介護に携わる人の健康管理（北村） 介護の労働環境 新聞・雑誌からの最新情報収集	
	6	介護に携わる人の健康管理（北村） 介護の労働環境（まとめ発表）	
	7	介護福祉士の倫理Ⅰ（北村） 様々な職種の倫理綱領など	
	8	介護の働きと基本視点Ⅰ（北村） 尊厳を支える介護・実習の体験から（Ⅰ） テキストⅠp173	
	9	介護の働きと基本視点Ⅱ（北村） 尊厳を支える介護・実習の体験から（Ⅱ） テキストⅠp173	
	10	介護福祉士の倫理Ⅱ（北村） 倫理的葛藤	
	11	介護の働きと基本視点Ⅲ（北村） 尊厳を支える介護	
	12	介護福祉士の倫理Ⅲ（北村） 「価値」について	
	13	地域活動（北村） 地域連携と介護の関わり	
	14	地域活動（北村） 地域連携と介護の関わり	
	15	介護福祉のイメージアップ（北村） 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング	
	16	介護福祉のイメージアップ（北村） 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の計画立案	
	17	介護福祉のイメージアップ（北村） 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の計画発表	
	18	介護福祉のイメージアップ（北村） 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の具体的計画	
	19	介護福祉のイメージアップ（北村） 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 今後の具体的計画	
	20	介護福祉のイメージアップ 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 計画実施	

	21 介護福祉のイメージアップ (北村) 介護福祉のイメージアップ作戦 グループワーキング 計画実施
	22 さまざまな生活支援とその意義Ⅰ (川原) 家族支援
	23 さまざまな生活支援とその意義Ⅱ (川原) 交互色彩分割法
	24 さまざまな生活支援とその意義Ⅲ (北村) 相談援助・精神的支援・家族支援 (前期高齢者)
	25 さまざまな生活支援とその意義Ⅳ (北村) 相談援助・精神的支援・家族支援 (後期高齢者)
	26 さまざまな生活支援とその意義Ⅴ (北村) 相談援助・精神的支援・家族支援 (障害者)
	27 さまざまな生活支援とその意義 (北村) 相談援助・精神的支援・家族支援 (障害児)
	28 専門職業人 (北村) 介護福祉士のあり方Ⅰ
	29 専門職業人 (北村) 介護福祉士のあり方Ⅱ
	30 専門職業人 (北村) 介護福祉士のあり方Ⅲ
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自立に向けた介護の具体的な対処方法を検討することができる ②介護を必要としている人への理解を深める ③介護福祉援助展開において、介護福祉の基本原則に則った対人援助の方法と技術を習得する ④介護・福祉の今後の課題を検討することができる ⑤介護職に求められる倫理観について、基本的な考え方を習得する  レポート、演習態度・授業態度・定期試験、を総合的に評価する。 【演習・授業態度 (20%)、出席率・提出物 (10%)、定期試験 (70%)】  【関心・意欲・態度】 協調性 (10%) 【思考・判断】 討議 (10%) 【技能・表現】 提出物 (10%) 【知識・理解】 定期試験 (70%)
科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：配布資料。 参考：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」「新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」」(中央法規出版)。 参考：『アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック』みらい出版。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後、お昼休み時間
備考・メッセージ	1. 授業は1年次に学習した内容の確認と補足、応用に向けての演習授業が中心となります。 2. 配布資料中心の授業です。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	2単位	必修
担当教員			
白似田 健悟			
実務教員			

講義概要	多種多様な障害のある利用者に対して、様々な手法の生活援助技術を用いて、安全に援助できる知識・技術を習得できる		
授業計画	1	心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	2	心臓機能障害に応じた生活支援技術 心臓機能障害のある人の理解と生活支援 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	3	腎臓機能障害に応じた介護 腎臓機能障害のある人の理解と生活支援、介護技術	
	4	呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	5	呼吸機能障害に応じた介護 呼吸機能障害のある人の理解と支援方法 介護技術の展開と他職種との連携・協働	
	6	膀胱・直腸機能障害に応じた介護 膀胱・直腸機能障害の特性と支援方法及び留意点	
	7	肝臓機能障害に応じた介護 肝臓機能障害の特性と、その支援方法及び留意点	
	8	精神障害に応じた生活支援技術 精神障害者の特性や生活の理解、生活支援方法	
	9	精神障害者に対する介護技術の展開と他職種との協働と連携	
	10	障害をもつ利用者の状態、状況に応じた生活支援技術とは。 社会福祉士及び介護福祉士の定義の変遷と利用者のニーズについて	
	11	視覚障害に応じた介護 視覚障害のある人の生活の理解および支援と環境整備	
	12	視覚障害者に対する介護技術の展開と他職種の役割と協働・連携 社会資源の利用・視覚障害のある人の生活（演習）	
	13	聴覚障害に応じた介護 聞こえの障害・聴力検査・補聴器について	
	14	聴覚障害者に対するコミュニケーションと支援	
	15	言語障害とは 言語障害のある人の特徴および配慮	
	16	聴覚障害および言語障害のある人の生活 演習	
	17	重複障害（盲ろう）に応じた介護 盲ろう者と生活の理解および介護技術の展開 他職種との役割と協働、連携（演習）	
	18	運動機能障害に応じた介護 運動機能障害と道常生活動作（ADL）	
	19	運動機能障害のある人の生活支援（1） 運動器疾患による障害と支援	
	20	運動機能障害のある人の生活支援（2） 神経・筋疾患による障害と支援（演習）	
	21	知的障害に応じた介護 知的障害のある人と生活の理解・心理的理解・医学的理解 他職種の役割と協働・連携	
	22	知的障害のある人に関わる上での留意点 知的障害者の地域生活における課題および演習	
	23	障害者に関する法律と相談支援事業	

	24	高次脳機能障害に応じた介護 高次脳機能障害のある人と生活の理解
	25	高次脳機能障害のある人の残存能力の拡大およびネットワークづくりと介護技術の展開（演習）
	26	発達障害に応じた介護 発達障害の特性と個別支援計画および介護技術の展開
	27	発達障害のある人に対する他職種の役割と協働、連携
	28	重症心身障害に応じた介護 重症心身障害のある人の生活の理解と支援 介護技術の展開および連携と協働（演習）
	29	終末期の介護 終末期ケアの意味と理念
	30	終末期における介護技術 終末期の介護における他職種の役割と協働、連携
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①内部障害・精神障害の理解と生活支援について理解できる ②視覚・聴覚・言語障害等の理解と生活支援について理解できる ③知的・発達障害、高次脳機能障害等の理解と生活支援について理解できる ④障害に応じた生活支援技術とは何か、について説明できる ⑤終末期について考え、その生活支援について理解できる  授業における課題の取り組み（20%）、授業内レポート（10%）、定期評価（70%）を総合して評価する	
科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科書・参考書	テキスト：新介護福祉士養成講座7『生活支援技術Ⅱ』第3版 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 新介護福祉士養成講座8『生活支援技術Ⅲ』第3版 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業終了後	
備考・メッセージ		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	1単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	介護過程の理論と演習体験を関連づけながら、介護過程の展開が出来る。		
授業計画	1	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	2	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	3	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	4	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	5	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	6	介護過程の展開 事例に基づいた介護過程の展開  学習課題 復習：他学生の事例を参考に長期実習の事例に基づいた見直し 予習：長期実習の事例に基づいた見直し	
	7	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	8	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	9	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	10	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	11	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	12	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：題材に則した文献収集をする。	
	13	介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を考える。  学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く	

	<p>予習：寸劇に必要な台本を書く。</p> <p>14 介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を発表する。</p> <p>学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：寸劇に必要な台本を書く。</p> <p>15 介護過程のまとめ 身近な題材を基に寸劇を発表する。</p> <p>学習課題 復習：テキストの重要な点にアンダーラインを引く 予習：</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①個別援助計画の要素を理解する。</p> <p>②事例演習から、個別の生活課題や潜在能力の見極めの方法のアセスメントを理解する。</p> <p>③自立支援に沿った個別援助計画の立案・実施・評価・他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解する。</p> <p>④総合視点（利用者の属性等の個人・環境因子など）様々な状況における事例を通して、介護過程の展開が出来るようになる。</p> <p>⑤介護過程における評価の時期、基準を学習する。</p> <p>授業における課題の取り組み（10％）定期評価（50％）演習発表（40％）で評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	介護福祉士養成講座編集委員会 第3版 「新・介護福祉士養成講座 10 『介護過程』 中央法規出版 テキストを補う為に、必要に応じて資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	2単位	必修
担当教員			
北村 光子			
実務教員			

講義概要	実習体験を通しての振り返りを、次の実習・実践につなげられるように、目的・目標を常に明確化する。また、他科目の進行状況や内容ともに関連付けながら、授業、実習、の総まとめとして捉え、基礎力、実践力、応用力を身につける。		
授業計画	1	介護総合演習Ⅱの意義と目的 介護実習Ⅰの振り返り（レポート作成） 介護実習Ⅱについて 長期実習施設の再確認 学習課題 復習：介護実習Ⅰ、Ⅱについて 予習：介護実習Ⅰ・Ⅱ（介護老人保健施設・介護老人福祉施設）の振り返りレポート作成	
	2	介護実習での学び 介護実習Ⅰの振り返り（事後学習） 長期実習先希望確認 学習課題 復習：介護実習Ⅱについて 予習：テキスト p 36～45まで読む	
	3	介護実習での学び 実習前後の学びの活かし方 介護実習Ⅰでの振り返りをも基にディスカッション 学習課題 復習：クラスメートの学びと比較し介護福祉士としてのあり方を考える 予習：テキスト p 200～211まで読む	
	4	介護総合演習Ⅱの意義と目的 介護実習Ⅱのねらい 介護実習マニュアル 学習課題 復習：テキスト、ノートを見て学びを深める 予習：実習生個人票の作成	
	5	長期実習事前学習 介護実習Ⅱに関する記録物の確認 演習6-1 学習課題 復習：実習マニュアルの再確認 予習：長期実習先内容確認	
	6	長期実習事前学習 介護実習に関する記録物の確認 演習6-2 学習課題 復習：実習マニュアルの再確認 予習：生活支援技術の振り返り	
	7	長期実習事前学習 事例研究について 介護過程演習の経過報告を行い、生活支援技術の振り返りを行う 学習課題 復習：生活支援技術の振り返り 予習：生活支援技術の振り返り	
	8	実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 アセスメント及び個別援助計画の進捗状況確認 学習課題 復習：介護過程の展開振り返り 予習：介護過程（個別援助計画）の振り返り	
	9	実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 アセスメント及び個別援助計画の進捗状況確認 学習課題 復習：介護過程の展開振り返り 予習：介護過程（個別援助計画）の振り返り	
	10	実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 実施及び評価の進捗状況確認 学習課題 復習：介護過程の展開振り返り 予習：生活支援技術の再確認	
	11	実習中の振り返り（帰校日） 実習の経過報告 実施及び評価の進捗状況確認 学習課題 復習：介護過程の展開振り返り 予習：生活支援技術の再確認・長期実習Ⅱでの振り返りレポート作成	
	12	事後学習 介護実習Ⅱ（長期実習）を振り返る 介護過程展開の振り返り（p 223～225） 学習課題 復習：長期実習にあたり自分自身の行動を振り返る 予習：昨年度のケースレポート集を閲覧する	



13	事例研究作成（事例報告集） 事例研究の書き方再確認 事例研究の提出手順、印刷、評価方法、発表会運営 事例研究の作成を行う 学習課題 復習：事例研究（事例報告集）作成 予習：事例研究（事例報告集）作成
14	事例研究作成（事例報告集） 事例研究の書き方再確認 事例研究の提出手順、印刷、評価方法、発表会運営 事例研究の発表方法 事例研究の作成を行う 学習課題 復習：ケースレポート（事例報告集）作成 予習：ケースレポート（事例報告集）作成事例報告書作成
15	事例研究（事例報告集）制本 事例研究（事例報告集）制本 発表原稿作成 学習課題 復習：発表原稿作成 予習：発表原稿作成・長期実習先への配布
16	事例研究（事例報告集）発表練習 カルチャーホールにて発表練習 学習課題 復習：発表練習 予習：発表練習
17	事例研究発表会事前指導 カルチャーホールにて発表練習 学習課題 復習：発表練習 予習：発表練習
18	事例研究発表会事前指導 カルチャーホールにて発表練習 学習課題 復習：発表練習 予習：発表練習
19	事例研究発表会 実習指導者、学生、保護者、教員同席により「事例研究（事例報告）」報告会
20	事例研究発表会 実習指導者、学生、保護者、教員同席により「事例研究（事例報告）」報告会
21	事例研究（事例報告）発表会の振り返り 事例研究発表会の振り返り、講評 学習課題 復習：事例研究発表会の振り返り用紙記入 予習：演習6-7
22	事例研究（事例報告）発表会の振り返り 事例研究（事例報告）発表会の振り返り、講評 演習6-7 学習課題 復習：発表会の意義について考える 予習：テキスト p 230～231を読む
23	総合的な演習の展開 総合的な演習の意義・目的 資格取得時の到達目標 学習課題 復習：テキスト・ノートを見て学びを深める 予習：演習7-1
24	総合的な演習の展開 演習7-1 学習課題 復習：ラベル貼り 予習：K J法によりまとめ
25	総合的な演習の展開 演習7-1 学習課題 復習：K J法によりまとめ 予習：演習7-1（2・3）
26	総合的な演習の展開 演習7-1 3の発表 学習課題 復習：他グループの発表と自分たちの発表の比較 予習：演習7-2
27	総合的な演習の展開 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7-2 学習課題 復習：演習7-2（1） 予習：演習7-2（2）
28	総合的な演習の展開 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7-2 学習課題 復習：演習7-2（2） 予習：演習7-2（3）
29	介護総合演習のまとめ 実習を通して「介護福祉士観」「職業観」について考える 演習7-2 学習課題 復習：演習7-2（3） 予習：「介護観」レポート作成
30	介護総合演習のまとめ

	<p>介護観の発表 学習課題 復習：就職施設の概要確認と今後の決意</p>
授業形態	授業・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①実習目標や実習課題は、主体的に自己（学生）の目標や課題を挙げるができる。  ②専門職に求められる福祉の理念、職業倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的な対応能力が習得できる。  ③実習記録などの書き方やレポートのまとめ方、自己評価表のつけ方、事例発表の仕方、実習に関わるコミュニケーションの方法について理解できる。  ④カンファレンスの進め方やグループディスカッションの方法について、理解できる。  ⑤介護実習で学んだ課題をまとめ、報告、連絡、相談、討議などを通して学習到達状況を見極めることができる。</p> <p>定期試験  実習前後の実習態度や提出物の内容  ・実習先の担当職員の評価  ・事例研究発表、実習報告書、事例検討書の内容等  により総合的に評価する。</p> <p>定期試験（30％）、事例研究発表（50％）、授業の取り組み（10％）、振り返りレポート等（10％）を総合して評価を行う</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習」中央法規出版。  テキスト：介護実習マニュアル</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後及び昼休み時間.
備考・メッセージ	講義概要、到達目標、評価方法、を確認の上、授業に臨んでください。

講義科目名称：介護実習Ⅱ（2年）

授業コード：90143

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	5単位	必修
担当教員			
北村 光子・西村 伊知恵			
実務教員			
講義概要	介護実習Ⅰで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する		
授業計画	長期実習（施設実習） 23日間（184時間） 《実習目的》 利用者を総合的に捉え、個性を踏まえた介護過程を展開することができる。		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があるか評価する力を身につける  介護実習の評価は、実習施設の実習指導者が評価し、その後、教員間で確認する。 実習前（10%）、実習中（80%）、実習後（10%）		
科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等			
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	実習の前後で対応します。		
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵			
実務教員			

講義概要	生理的欲求としての休息・睡眠に関する基礎的知識、障害を理解し、その対応を学ぶ。人生の最終段階にある人へのケアのあり方、方法について学ぶ。		
授業計画	1	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ休息・睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題 復習：教科書p 242-247 睡眠に関連したしくみ 予習：教科書p 242-247 睡眠に関連したしくみ	
	2	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ休息・睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題 復習：教科書p 242-247 睡眠に関連したしくみ 予習：教科書p 242-247 睡眠に関連したしくみ	
	3	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ休息・睡眠をとるのか、睡眠に関連したこころのしくみ、睡眠に関連した体のしくみ 学習課題 復習：教科書p 242-247 睡眠に関連したからだのしくみ 予習：教科書p 251-258 心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響	
	4	心身の機能低下が休息と睡眠に及ぼす影響 休息・睡眠に影響を及ぼす心身機能の低下、睡眠障害 学習課題 復習：教科書p 251-258 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響 予習：教科書p 259-266 変化の気づきと対応	
	5	変化の気づきと対応 休息・睡眠での観察のポイント、睡眠での医療職との連携のポイント 学習課題 復習：教科書p 259-266 変化の気づきと対応 予習：教科書p 259-266 死にゆく人に関連したしくみ	
	6	変化の気づきと対応 休息・睡眠における観察のポイント 学習課題 復習：教科書p 259-266 変化の気づきと対応 予習：教科書p 268-275 死にゆく人に関連したしくみ	
	7	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 死を理解する。 学習課題 復習：教科書p 268-275 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 268-275 死にゆく人に関連したしくみ	
	8	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 死のとらえかた 学習課題 復習：教科書p 268-275 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 276-283 死にゆく人に関連したしくみ	
	9	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 終末期から「死」までの変化と特徴 学習課題 復習：教科書p 276-283 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 276-283 死にゆく人に関連したしくみ	
	10	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 終末期から「死」までの変化と特徴 学習課題 復習：教科書p 276-283 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 284-289 死にゆく人に関連したしくみ	
	11	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 「死」に対するこころの理解 学習課題 復習：教科書p 284-289 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 284-289 死にゆく人に関連したしくみ	
	12	人生の最終段階にある人に関連したしくみ 「死」に対するこころの理解 学習課題 復習：教科書p 284-289 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 290-297 死にゆく人に関連したしくみ	
	13	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 医療職との連携のポイント 学習課題 復習：教科書p 290-297 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 290-297 死にゆく人に関連したしくみ	
	14	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 医療職との連携のポイント 学習課題 復習：教科書p 290-297 死にゆく人に関連したしくみ 予習：教科書p 242-297 睡眠、死について	
	15	まとめ 休息と睡眠、死について 学習課題 復習：教科書p 242-297 睡眠、死について	
授業形態	講義		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①休息・睡眠の基礎的知識を理解することができる</p> <p>②休息・睡眠に関連したところとからだのしくみについて理解することができる</p> <p>③死のとらえ方について理解し、説明できる</p> <p>④人生の最終段階にある人たちへの尊厳あるケアについて考えを深めることができる</p> <p>⑤医療職との連携の重要性を学び、観察力や判断力を身につけるために必要となる知識や技術を習得する。</p> <p>定期試験（80%）、グループワークによるディスカッション（10%）、レポート（10%）で総合的に評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 1 1 『こころとからだのしくみ』中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川由香里			
実務教員			

講義概要	医療の倫理を遵守し、チーム医療を担う一員であることを自覚したうえで、医療的ケアの実践にあたることの重要性を理解する。喀痰吸引は医行為であることを理解し、利用者に対して、医療提供上の危機管理をふまえて安全に提供できる基礎的知識、実施手順を学ぶ。
授業計画	<p>1 なぜ医療的ケアを学ぶのか 医療的ケアとは、医療行為について 学習課題 復習：教科書 p 2 - 4 医療的ケアとは、医行為とは、チーム医療 予習：教科書 p 4 - 1 1 医療の倫理、個人の尊厳と自立</p> <p>2 医療の倫理、個人の尊厳と自立 個人の尊厳と自立 学習課題 復習：教科書 p 4 - 1 1 医療の倫理、個人の尊厳と自立 予習：教科書 p 1 1 - 2 1 喀痰吸引等制度</p> <p>3 喀痰吸引等制度 喀痰吸引等制度 学習課題 復習：教科書 p 1 1 - 2 1 喀痰吸引等制度 予習：教科書 p 2 1 - 3 6 医療的ケアと喀痰吸引等の背景</p> <p>4 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 学習課題 復習：教科書 p 2 1 - 3 6 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 予習：教科書 p 3 7 - 6 1 安全な療養生活</p> <p>5 安全な療養生活 安全な療養生活 学習課題 復習：教科書 p 3 7 - 4 4 安全な療養生活 予習：教科書 p 6 2 - 7 1 感染予防、手洗い、うがい、介護福祉職の感染予防</p> <p>6 清潔保持と感染予防 感染予防、手洗い、うがい、介護福祉職の感染予防 学習課題 復習：教科書 p 6 2 - 7 1 清潔保持と感染予防 予習：教科書 p 7 1 - 7 8 療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒</p> <p>7 清潔保持と感染予防 感染予防、介護職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒 学習課題 復習：教科書 p 7 1 - 7 8 感染予防と清潔保持 予習：教科書 p 1 1 6 - 1 3 7 子どもの吸引について</p> <p>8 子どもの吸引について 子どもの吸引について 学習課題 復習：教科書 p 1 1 6 - 1 3 7 子どもの吸引について 予習：教科書 p 7 9 - 9 1 健康状態の把握</p> <p>9 健康状態の把握 健康状態の把握 学習課題 復習：教科書 p 7 9 - 9 1 健康状態の把握 予習：教科書 p 7 9 - 9 1 健康状態の把握</p> <p>1 0 健康状態の把握 身体・精神の健康、健康状態を知る項目(バイタルサイン)、急変状態について 学習課題 復習：教科書 p 7 9 - 9 1 健康状態の把握 予習：教科書 p 9 4 - 1 6 2 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 1 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題 復習：教科書 p 8 8 - 1 5 3 高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書 p 8 8 - 1 5 3 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 2 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点 学習課題 復習：教科書 p 8 8 - 1 5 3 高齢者および障害児・者の喀痰吸引 予習：教科書 p 8 8 - 1 5 3 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 3 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急</p>

	<p>変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 4 高齢者および障害児・者の喀痰吸引手順解説  呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 5 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説  呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説  呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 7 喀痰吸引のケア演習  呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引</p> <p>1 8 喀痰吸引のケア演習  呼吸のしくみと働き、いつもと違う呼吸状態、喀痰吸引とは、喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、人工呼吸器と吸引、子どもの吸引、喀痰吸引に伴うケア、吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、報告及び記録、喀痰吸引の実施手順と留意点  学習課題 復習：教科書 p 88-153 高齢者および障害児・者の喀痰吸引  予習：教科書</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①医行為の法的理解、倫理について説明できる  ②介護職等による高齢者および障害児・者の喀痰吸引等制度と「医療的ケア」について説明できる  ③安全に喀痰吸引等を提供する重要性とその基本的内容、実施手順について説明できる  ④感染予防、その他の安全への基礎知識とその方法について理解し、説明できる  ⑤身体・精神の平常と急変状態、またその対応について説明できる</p> <p>定期試験(100%)で評価を行う。</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：【編集】介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 15 『医療的ケア』中央法規出版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	講義
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員			

講義概要	医療の倫理を遵守し、チーム医療を担う一員であることを自覚して実践にあたる重要性を理解する。経管栄養は医行為であることを理解し、利用者に対して、医療提供上の危機管理(救急蘇生含)をふまえて安全に提供できる基礎的知識、実施手順とその留意点について学ぶ。
授業計画	<p>1 医療的ケア実施の基礎 医療的ケアとは何か、医療的ケアを行うための基本的心構えを理解 学習課題 復習：教科書 p 2-35 医療的ケア実施の基礎 予習：教科書 p 2-35 医療的ケア実施の基礎</p> <p>2 医療的ケア実施の基礎 医療的ケアとは何か、医療的ケアを行うための基本的心構えを理解 学習課題 復習：教科書 p 2-35 医療的ケア実施の基礎 予習：教科書 p 36-74 安全な療養生活</p> <p>3 安全な療養生活 感染予防と清潔保持 学習課題 復習：教科書 p 36-74 安全な療養生活 予習：教科書 p 36-74 安全な療養生活</p> <p>4 安全な療養生活 感染予防と清潔保持 学習課題 復習：教科書 p 36-74 安全な療養生活 予習：教科書 p 36-74 救急蘇生</p> <p>5 救急蘇生 救急蘇生の演習を行う 学習課題 復習：教科書 p 36-74 救急蘇生 予習：教科書 p 36-74 救急蘇生</p> <p>6 救急蘇生 救急蘇生の演習を行う 学習課題 復習：教科書 p 36-74 救急蘇生 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>7 高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>8 高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>9 高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>10 高齢者および障害児・者の経管栄養 消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>11 高齢者および障害児・者の経管栄養</p>



	<p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 2 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 3 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 4 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 5 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 6 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 7 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養</p> <p>1 8 高齢者および障害児・者の経管栄養</p> <p>消化器のしくみと働き、消化器の主な症状、経管栄養とは、経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持、注入する内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意、経管栄養に関する感染と予防、経管栄養より生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策、経管栄養の実施手順と留意点、報告及び記録</p> <p>学習課題 復習：教科書 p 156-214 高齢者及び障害児・者の経管栄養 予習：教科書</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>① 医行為の法的理解、倫理について説明できる</p> <p>② 消化器のしくみとはたらきについて説明できる。</p> <p>③ 高齢者および障害児・者の経管栄養概論と実施手順について理解し、説明できる</p> <p>④ 経管栄養実施前後のケア、急変時の対応(救急蘇生演習)について医療職との連携を含め理解し、介護福祉士のとるべき行動について説明できる</p> <p>⑤ 経管栄養実施後の報告と記録を実施することができる</p> <p>定期試験（90％）、演習への取り組み（10％）で評価する</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	

教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会編「最新 介護福祉士養成講座15『医療的ケア』」中央法規
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受付ける。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	2単位	必修
担当教員			
太田 茂美 北村 光子			
実務教員			

講義概要	1年次に習得した生活支援技術の演習を中心に振り返りを行い、基礎的理解を深め、実践力を身につける		
授業計画	1	レクリエーション援助 レクリエーションの意義・目的	
	2	レクリエーション援助 レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響 学習課題 復習：プリントを読む 予習：施設におけるレクリエーションの実際を調べる	
	3	レクリエーション援助 レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響（施設） 学習課題 復習：施設におけるレクリエーション 予習：在宅におけるレクリエーションの実際を調べる	
	4	レクリエーション援助 レクリエーションが及ぼす生活リハビリテーションへの影響（在宅） 学習課題 復習：施設におけるレクリエーション 予習：在宅におけるレクリエーションの実際を調べる	
	5	レクリエーション援助 レクリエーション計画立案	
	6	レクリエーション援助 レクリエーション計画立案	
	7	レクリエーション援助 学生が考案したレクリエーション発表 学習課題 復習：調査から地域伝承の遊び・レクを発表する。	
	8	移動の介護 基礎的な移動介助の演習を行う（歩行介助・車椅子介助→トイレ・ポータブルトイレ） 学習課題 復習：移動に関する基礎知識、留意点について 予習：移動に関する基礎知識、留意点について	
	9	移動の介護 介護実習Ⅰを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う（歩行介助・車椅子介助→トイレ・ポータブルトイレ） 学習課題 復習：移動に関する基礎知識、留意点について 予習：移動に関する基礎知識、留意点について	
	10	移動の介護 様々な移動介助（小テスト）	
	11	食事の介護 食事介助についての基礎知識、留意点について振り返りを行う 学習課題 復習：食事に関する基礎知識、留意点について 予習：食事に関する基礎知識、留意点、介助方法について	
	12	食事の介護 介護実習Ⅰを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う 学習課題 復習：食事に関する基礎知識、留意点について 予習：食事に関する基礎知識、留意点について	
	13	食事の介護 様々な食事介助（小テスト）	
	14	排泄の介護 排泄介護に関する基礎知識、留意点について学ぶ （オムツ交換） 学習課題 復習：排泄に関する基礎知識、留意点について 予習：排泄に関する基礎知識、留意点、介助方法について	
	15	排泄の介護 介護実習Ⅰを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う（オムツ交換） 学習課題 復習：排泄に関する基礎知識、留意点について 予習：排泄に関する基礎知識、留意点、介助方法について	
	16	排泄の介護 様々な排泄介助（小テスト）	
	17	身じたくの介護 身じたく介助の演習を行う 学習課題 復習：身じたくに関する基礎知識、留意点、介助方法について 予習：基礎的な介護方法を確認する	

	18	身じたくの介護 介護実習Ⅰを振り返り、障害の程度に応じた移動介助の演習を行う 学習課題 復習：身支度に関する基礎知識、留意点について 予習：身支度に関する基礎知識、留意点、介助方法について
	19	身じたくの介護 様々な排泄介助（小テスト）
	20	入浴の介護 入浴介護に関する基礎知識、留意点について学ぶ 学習課題 復習：入浴に関する基礎知識、留意点について 予習：障がいに関する基礎知識、留意点、介助方法について
	21	実習後の振り返り・技術の確認Ⅰ 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る
	22	実習後の振り返り・技術の確認Ⅱ 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る
	23	実習後の振り返り・技術の確認Ⅲ 長期実習での体験した生活支援技術を振り返る
	24	事例を通しての総演習① 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	25	事例を通しての総演習② 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	26	事例を通しての総演習③ 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	27	事例を通しての総演習④ 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	28	事例を通しての総演習⑤ 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	29	事例を通しての総演習⑥ 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
	30	事例を通しての総演習⑦ 事例検討を行いながら、根拠ある生活支援技術の実践について考える 学習課題 復習：生活支援技術全般について 予習：生活支援技術全般について
授業形態		演習・講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率		①レクリエーション援助技術を習得する ②1年次に学んだ、移動、身じたく、移動、食事、排泄に関する生活支援技術を再確認し、理解を深めることができる ③介護実習を通して学んだ知識、技術をもとに、利用者の身体状況に応じた介護の根拠を理解する ④生活、疾患別、個性に応じた生活支援技術を身につける ⑤グループディスカッションにより、技術の実践力、応用力を身につける  定期試験（70%）、演習態度（20%）、レポート（10%）を総合して評価を行う
科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科書・参考書		テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 新 介護福祉士養成講座6、「生活支援技術Ⅰ」、7「生活支援技術Ⅱ」 参考：介護福祉士養成講座編集委員会 新 介護福祉士養成講座8「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版
履修条件		
履修上の注意		疲労蓄積、腰痛予防の為に、各自で準備体操、整理運動を行ってください。1年次で習得したボディメカニクスを意識して行動してください。
オフィスアワー		授業時間後や空きコマなど、教室や研究室で質問など受け付けます。
備考・メッセージ		次回の授業範囲を予習し、実技演習を各自で復習してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	講義
担当教員			
藤島 法仁			

講義概要	介護の実践に関連する職種（福祉、保健、医療）、保健・医療サービス、高齢者・障害者・児童の福祉施策、権利擁護、所得や医療負担の制度について理解を深める。
授業計画	<p>1 介護福祉士の業務と関連職種 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：保健・医療の関係機関について調べておくこと。</p> <p>2 保健・医療の関係機関 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：保健・医療のサービスについて調べておくこと。</p> <p>3 保健・医療のサービス 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：高齢者の社会参加に関する施策について調べておくこと。</p> <p>4 高齢者・障害者の福祉 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：個人情報保護法について調べておくこと。</p> <p>5 個人情報保護に関する制度 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：成年後見制度について調べておくこと。</p> <p>6 成年後見制度と虐待防止法 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：年金保険について調べておくこと。</p> <p>7 生活保護と年金保険 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。 予習：医療保険について調べておくこと。</p> <p>8 医療保険 学習課題 復習：講義の内容を振り返って理解を深めておくこと。</p>
授業形態	講義を中心とするが、適宜、グループでの話し合いなどを行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①介護福祉士と関連をもつ福祉、保健、医療の職種と業務について理解を深める。 ②保健、医療サービスの内容と提供する機関について理解を深める。 ③高齢者、障害者、児童に関する施策について理解を深める。 ④権利擁護について理解を深める。 ⑤利用者の所得や医療負担の制度について理解を深める。</p> <p>授業態度20%、レポート10%、定期試験70%を総合して評価を行う。</p>
科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	『最新介護福祉全書 第2巻 社会の理解』メヂカルフレンド社。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月、水、木の放課後
備考・メッセージ	積極的に授業に参加してほしい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	演習
担当教員			
西村 伊知恵 ・ 滝川 由香里			
実務教員	介護福祉専攻	週4時間	

講義概要	シミュレーターを使用した「喀痰吸引」「経管栄養」の演習を行う。また、各演習におけるケア実施の流れ（準備、実施、報告、記録）と留意点について学ぶ。		
授業計画	1	喀痰吸引、経管栄養実技試験に向けての確認 喀痰吸引の実技の準備（指示の確認、手洗い、必要物品、環境整備等）、後片付け、観察、報告及び記録 経管栄養の実技の準備（指示確認、手洗い、必要物品、環境整備等）、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の確認等 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の確認等	
	2	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	3	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	4	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	5	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	6	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	7	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	8	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	9	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	10	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	11	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	12	実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 94-159、164-219 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録	
	13	実技評価	



	<p>2 9 付け、観察、報告・記録 実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 9 4 - 1 5 9、1 6 4 - 2 1 9 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 9 4 - 1 5 9、1 6 4 - 2 1 9 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録</p> <p>3 0 実技評価 必要物品の準備、後片付け、観察、報告及び記録 学習課題 復習：教科書 p 9 4 - 1 5 9、1 6 4 - 2 1 9 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録 予習：教科書 p 9 4 - 1 5 9、1 6 4 - 2 1 9 必要物品の準備、後片付け、観察、報告・記録</p>
授業形態	実習室にて演習を行う。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①喀痰吸引の必要物品が準備できる ②シュミレーターを使用した喀痰吸引のケアが実施できる ③経管栄養の必要物品が準備できる ④シュミレーターを使用した経管栄養のケアが実施できる ⑤喀痰吸引、経管栄養のケア実施の報告と記録について理解し、実施することができる</p> <p>演習：喀痰吸引及び経管栄養について、各項目ごとに5回以上の演習を実施し、5回のうちの最終3回のケア実施において、不成功が1回もないことを合格基準とする。場合によっては補習を課すことがある。</p> <p>演習に入る前に知識レベルをチェックする(筆記試験80%を取得すること)。</p> <p>演習(100%)で総合的に評価する</p>
科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分又は事項等	
教科書・参考書	テキスト：【編集】介護福祉士養成講座編集委員会 最新介護福祉士養成講座 15 中央法規出版株式会社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間の前後に教室で質問を受付ける
備考・メッセージ	